

REINANZAKA BOY SCOUT • GIRL SCOUT • 40TH ANNIVERSARY 1947 – 1987

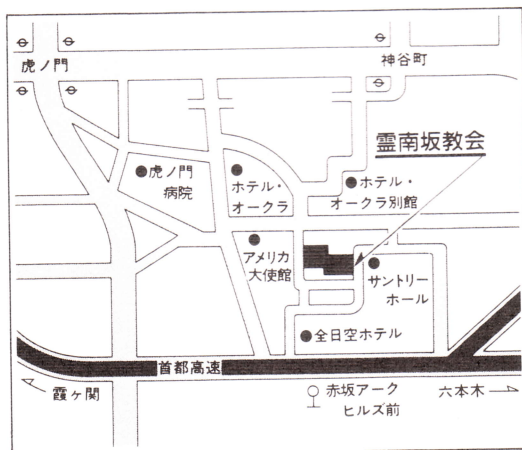
BOY SCOUT MINATO 1
GIRL SCOUT TOKYO 4



40TH

ボーイスカウト 港 1 団
ガールスカウト 東京第4団

創立40周年記念誌



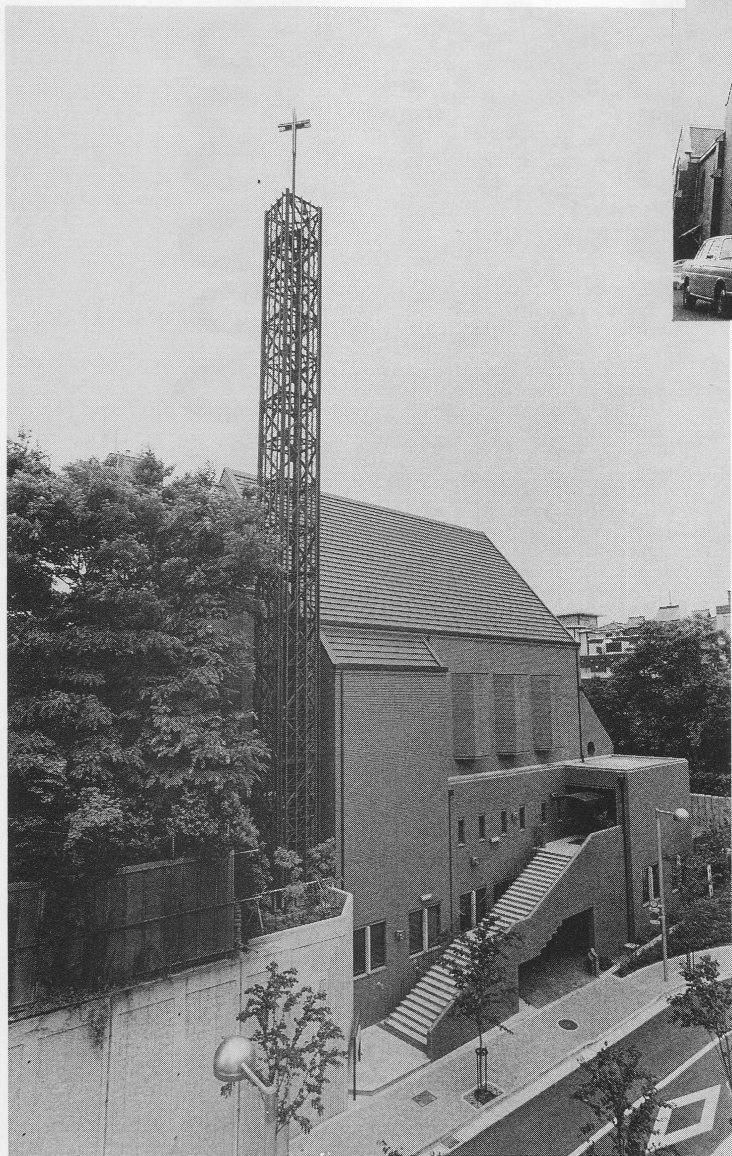
日本キリスト教団 霊南坂教会

〒107 東京都港区赤坂1-14-3 ☎03-583-0403, 589-3834





旧会堂（1917年献堂）



新会堂（1985年10月献堂）

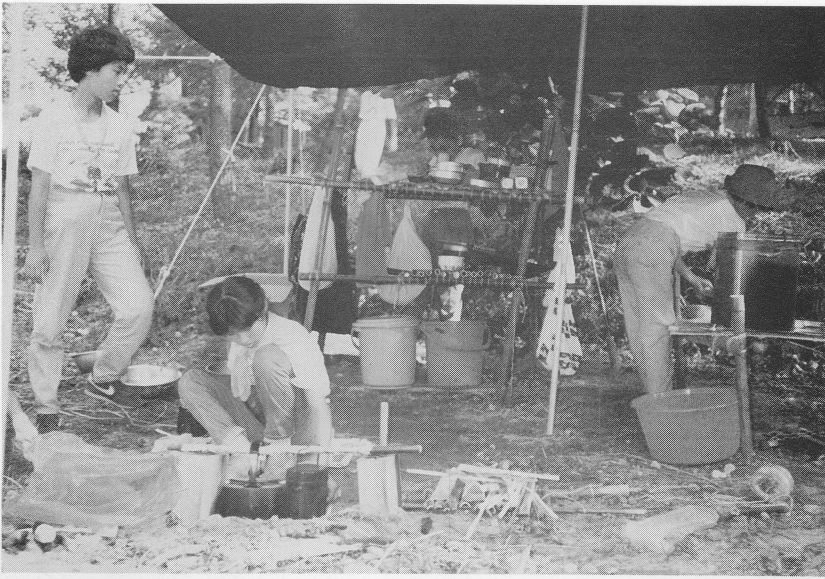


1985年
クリスマスページェント

1987年
春のハイキング
(横浜)



1986年
アークヒルズにて



1985年
夏キャンプ(伊香保)



1985年
春キャンプ(箱根)



1986年
夏キャンプ(野辺山)



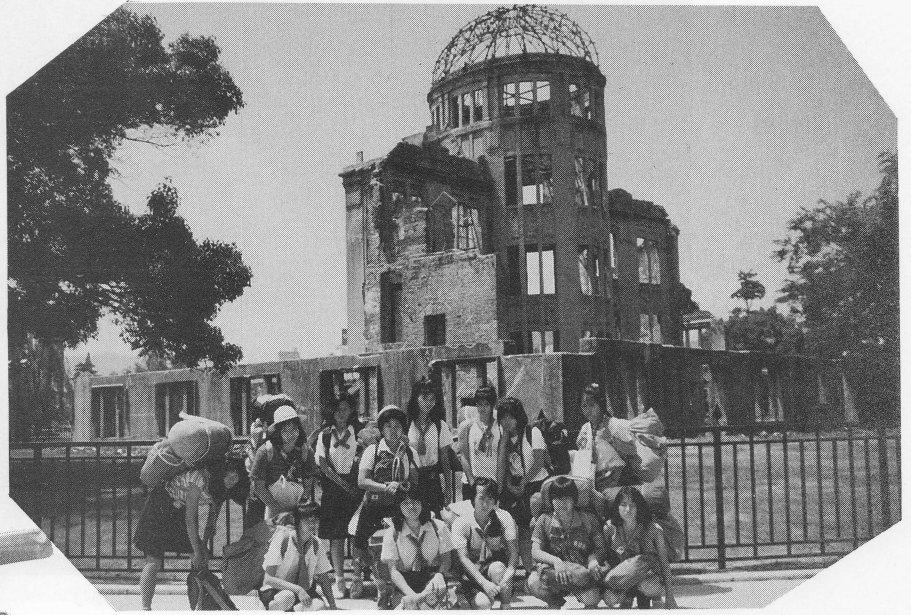
1986年 夏キャンプ(本栖湖)



1986年 キャンプクラフト



1986年 ハイキング(鎌倉)



1986年 夏の移動キャンプ（於 広島）



1984年 夏の移動キャンプ（於 弁天沼）



1986年 春のスキーキャンプ（小丸山スキー場）



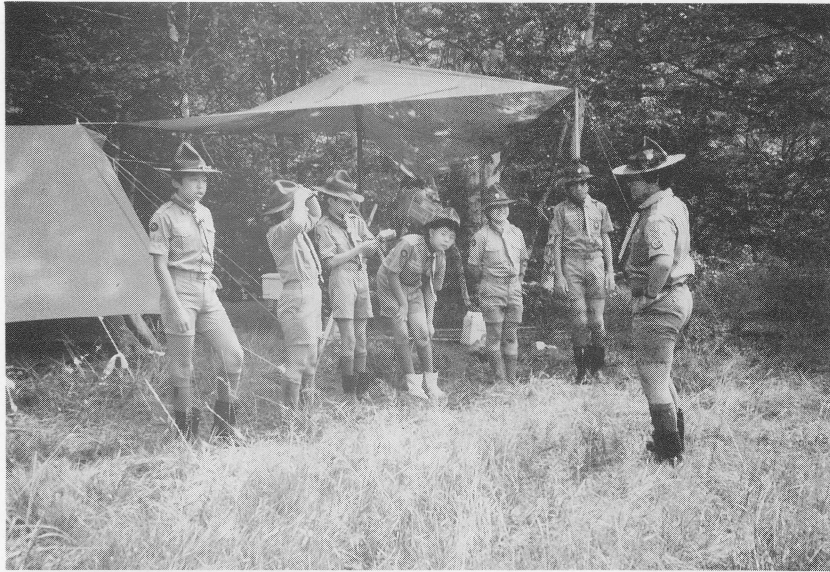
1984年 夏キャンプ(野尻湖)



レッツ トライ!



1986年 夏キャンプ(日光)



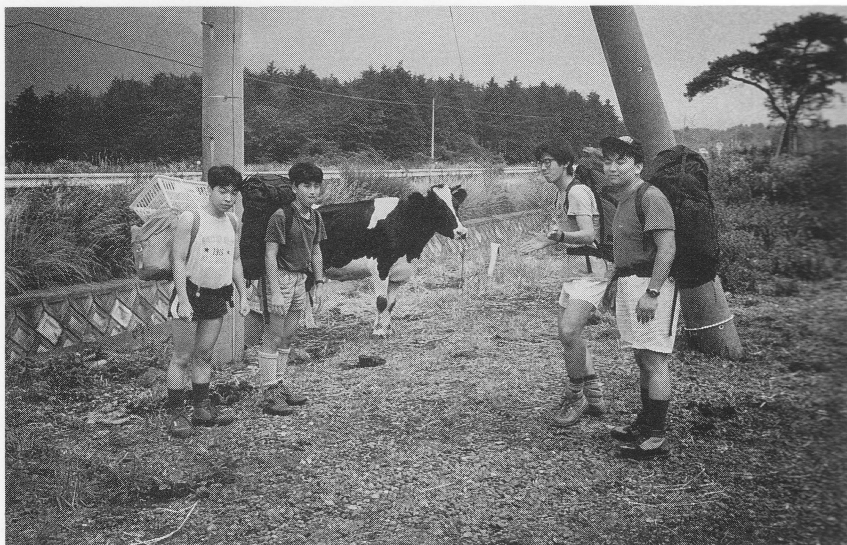
1986年 夏キャンプ(日光)



1986年 同上



1986年 同上



1986年 夏の移動キャンプ（富士五湖一周）



1986年 夏の移動キャンプ（同上）



1986年 ナイトハイク（高尾山）

我々はみんな一つの壁をつくっているレンガのようなものだ

我々一人ひとりには決められた場所がある。

一つが傷んだり（くさったり）一つがはずれたりしたら、

他のレンガに過重な重みがかかり、ひびが入り、

壁はぐらぐらになってしまう。

目次

四十年が意味するもの……………飯 清 1
 今だから言えるあの日のことを……………太 田 彰 2
 四十周年によせて……………梅 沢 佳 美 3
 四十周年によせて……………古 谷 久 代 3
 スカウト・黙示録……………今 井 賢 祐 4
 流れゆく時の中で……………尾 堂 隆 哉 4

第一部 スカウトのページ

ブラウニーのページ……………7
 カブ隊のページ……………12
 ジュニアのページ……………17
 ボーイ隊のページ……………26
 シニアのページ……………30
 シニア隊のページ……………37
 レンジャーのページ……………40

第二部 OB・OGのページ

ボーイスカウト・カールスカウト諸君へ……………マーチン・B・ウイリアムス 46
 発隊当時のこと……………今 田 富士雄 50
 "エラー"をしたからこそ……………飯 田 貞 雄 50
 カブ隊と私……………杉 原 正 51
 形と心……………柳 健 一 52
 今だから言えるあの日の事……………関 口 敦 夫 53
 創立四十周年によせて……………白 井 愛 54
 ガールスカウト東京四団……………
 創立四十周年によせて……………芹 野 朝 子 54
 のびちゃったキッコさんより……………根 本 喜 久 子 56
 行きそこなったキャンプ……………河 合 潤 子 57
 四十周年によせて……………内 藤 知 恵 子 57
 キャンプは楽し……………児 崎 桃 子 58
 はじめてのキャンプ……………坂 田 晴 子 58
 四団BS・GS年表……………161
 編集後記……………169

附 録

四十年が意味するもの

飯

清

私たちのスカウトが四十年の記念祝典を守ることができ、この日を、心から祝い、神様に感謝の祈りをささげたいと先ず願うものです。このスカウトの四十年の歩みの中で、私は靈南坂教会在任二十七年のうち、二十六年間を育成会長という職務にあつたわけですが、充分な働きをせず、形ばかりの育成会長であつたことをお詫びしなければなりません。この四十年間にはいろいろなことがあり、それはうれしい時ばかりではなく、悲しいことや困つたことも何度もありましたが、それらを乗り越えて今日の祝典をむかえることができたのは、何よりも神様の恵みであつたと思わざるを得ません。

四十年前に、日本占領軍の司令部で勤務していた青年ウィリアム氏の努力により、日本連盟より前にテストケースとして組織されたボーイ・スカウトは、戦後日本の第一号となつたわけですが、同じ経過をとつたガール・スカウトの第一号と共に、歩み続けることができ感謝でした。ベーデンパウエル卿のスカウト運動が教会の中から生れたことと考え合わせ、私たちは深い責任を自覚させられます。私たちのスカウトが、チャーチ・スカウトの実体をなくしたら、「ききめを失つた地の塩」として外に捨てられ、人に踏まれるだけのものになるでしょう。

聖書の中で「四十年」という時に、あの映画「十戒」に描か

れた出エジプトの民の四十年の荒野の旅がいつも想起されました。彼らは荒野で訓練され、潔められて「乳と蜜との流れる約束の地」へ導き入れられました。その旅路は困難に充ちたものでしたが、聖書には「この四十年の間、あなたの着物はすり切れず、あなたの足ははれなかつた」と絶えず変わることはない神様の恵みと、導きの御手があつたことが語られています。私たちもこの四十年を導いて下さつた神様の御手をいつも認識していなくてはなりません。

靈南坂スカウトは新会堂の中で、広い倉庫と沢山の集会用の部屋を与えられています。約束の地にはいることができた民に向つてモーゼは「あなたは心のうちに『自分の力と自分の手の働きで、わたしはこの富を得た』と言つてはならない」といしましめました。私もこの言葉を同じようにスカウトとリーダーに語りたひと思つています。預けられた施設を「当り前のこと」と思わないで、謙虚に感謝し、責任をもつて管理したいものです。

いづれにしても、四十年記念式典はうれしいことです。ほとんどのスカウトやリーダーたちが生まれる前に起つた出来事と、一人の米人青年のもつていた情熱と理想が今日まで続いたのは本当に素晴らしいことです。この日を喜びをもつて迎え、これからの歩みに向つて神様の導きを祈り求めつつ、この式典を祝ひましょう。

「今だから言えるあの時のこと」

ボーイ・スカウト団委員長

太田

彰

私と靈南坂スカウトとの関りは、娘が小学生の頃からで、もう十五、六年前の事です。ガールスカウトの団委員長になりましたから、数々のキャンプのお供をし、キャンプ生活の厳しさ、苦しさ、不自由さを実感し、又、数々の出来事を経験致しました。竹を切るスカウトを手伝って、「スカウト自身にやらせて下さい。」と注意をうけたり、ハイキングの時に、チェックポイントの立ち番をした事、各サイトにリーダーと共に交互に招かれ、三日間程、砂飯・コゲ飯をとてもおいしいという顔付で（それはもう充分に）食べなければならなかった事、又、帰京致しました際、お迎えの父兄の方々より「少し、おやつれになりましたね。」との、コメントを頂戴した事などが、たいへん懐しく思い出され、その時のスカウトが現在リーダーとして活躍しているのを見ますと、年月の早さを感じます。その後、靈南坂教会員となり、本年度で十一年が経ちました。ボーイスカウトとの関係は六、七年前に推薦をうけ、シニア隊長になって以後です。スカウト経験がありませんでしたので、リーダー研修等もお三場での野外実習、又第八回ジャンボリーにも参加し、リーダー資格を修得致しました。その時々々の苦い体験は今でも頭にこびりついて、私自身のあまり良い思い出はありません。

その体験から現在のジャンボリーを基本的に見直しその必要性を参加者一人一人が、良い思い出とともに心に刻みつける事があって欲しいと考える時があります。又、スカウトが高校生のハイティーンなので意志の疎通が困難で、隊長からの希望とこりあれかしと願う事柄が、実現されないという事はとても遣い切れませんし、隊長としての指導力の無さと自分自身に対する大きな失望とをつくづくと感じます。

スカウトを続けた者は他の友人達から「あいつは良い奴だ。」と言われる人になってもらいたい、又将来においても魅力ある人間となる為に、何等からの幻でも良い、とっかかりをスカウト活動を通して見い出せないものだろうかと思い、私自身それを探している一人です。昨年より小崎団委員長の後を引き継ぎましたが、ガールスカウトと協調し、共に靈南坂スカウトとして神と教会員兄弟姉妹に愛せられるスカウト目指して四十周年をステツプにこの卯年に大きくジャンプしてゆきたいと願っています。小さなリーダー、小さな団員ですが、一人少しの小さな想いをスカウトに向け、神が指し示す目標に向かって走りぬころではありませんか。最後に、OB・OGの皆様、スカウトのご家族、一人一人のご指導とご協力を切にお願い致します、心からのご挨拶をお送り致します。

「四十周年によせて」

G・S東京第四団団委員長

梅 沢 佳 美

私がガール・スカウトと関わるようになってから、年数ではまだやつとシニアになっただけです。こんな私が、皆様と一緒に団の仕事をしていくことが出来るのは、初期の手さぐりの時代から、その時々に関係者が、スカウトにとって何が第一かをしっかりと見つめ、考えながら進んで来た四十年の道程があったからだと思えます。

今、前進する道の先端に立つ者として、今迄を顧み、学び取ると同時に、次の時代を荷う人々を育て、確かなものを伝えていく努力、伝えるべき技術の取得、取るに足りない私を用いて下さる神様への祈りを忘れることなく進んでいきたいと願っています。

御一緒に働く人達、見守り助けて下さる方々との出会いを大切にし、この交りを得られたことを心より感謝しています。

G・S東京第二〇四団団委員長

古 谷 久 代

「今の子供は昔と違うから」とよく聞きます。確かに子供を取りまく環境は大きく変って来ていますから、生活、言葉、遊び、食べ物、時代にあわせて子供達は生きています。でも、子供の本質そのものは、それ程違ってはいないのではないのでしょうか。

「私達の集会が一番楽しかった！」

「私達のしたキャンプにくらべれば、今のなんかたいした事はない。」

どの年代の人も皆、こういう気持ちでいるのだと、最近改めて知りました。皆、その時々を一生懸命生きているのですね。

さて、今四十周年の時に再びリーダーである私が思うことは、「スカウティングとは何か」と言うことです。改めて問いなおして、考えて、私がスカウトであった時に受けたあの感動を、今のスカウト達に少しでも分けてあげられたらと願っています。



「スカウト・黙示録」

今 井 賢 祐

制服を見ると、その人の属しているグループが判る。スカウトの場合、特にそうだ。

「夏の甲子園」でも、行進の入場者を先導するスカウトは、選手を越えて目立たず、それでいて、出場者らに劣らず素晴らしい。

ところで、聖書に『キリストを着なさい』という言葉がある。(ロマ・十三章十四節)この言葉は、キリストによつて、ころをキリストに向けて生きなさいとのすすめでもある。キリストはいわばころの制服だ。

甲子園でスカウトが掲げて入場するプラカードは出場校の名前だが、世にいうところの「もの」の時代に「ころ」の入場を先導するスカウトを想えば、そのプラカードは、やはり「備えよ常に」の標語だろう。

旧約聖書の予言者アモスは『あなたの神に会う備えをせよ』(アモス書四章十二節)と人々にころの備えを訴えた。キリストは天国のたとえ話で、ランプに油を備えていた乙女の話をした。 (マタイ・二五章四節)

いただいたスカウト四十周年記念のテレフォン・カードで、天国のパウエルさんご夫妻に電話をすると、やはり、「備えよ常に」の言葉が聞えてくるようだ。四十年の歴史と実績をパッ

クして、靈南坂スカウトも、いよいよ「ころ」の時代に備えられて登場するようだ。

流れゆく時の中で

尾 堂 隆 哉

近代的高層ビルが赤坂を埋め尽す日が来るだろう。何もかもが、時代の要求に応じて変化していく。しかし物質的変化や豊かさが、人間の精神的渴望を充足できるのだろうか。

教会が神から与えられている使命は、時代がどのように変化しようとな変である。「神共にいます」ことを一人一人が宣べ伝えることである。同様にスカウトも活動方法がたとえ変化しても、精神的根源は変わらない。

少年少女たちが、自我に目ざめ始める時にそのエゴを捨て、社会への献身と奉仕の業に励む姿から、一体おとなたちは何を学ぶのであろうか。献身と奉仕の精神は、おとなたちにもある。しかし、そこにエゴイズムという落とし穴があり、自己充足的な考え方があるのではないだろうか。これはクリスチャンにも言えることである。

このことを憂慮すると、本当に子供たちに教えるべき指導者が、エゴを捨てなければならぬ。それも自分自身の生涯を通してなのである。これは大変困難なことである。

四十周年をむかえるスカウト活動が、これからも献身と奉仕の業を、不変の精神のもとに行なうことを願ひ、祈り続けたい。社会的・地域的状況は困難を窮めるだろう。しかし、指導者と青少年たちが互いに学び合う時、そこには必ず固い結束が生まれ、次代を担う人々が現れるにちがいない。時は流れても真理は流されず、永遠に実を結び続けるのである。

教会の歩み

私達の霊南坂教会は1879(明治12)年12月13日、小崎弘道牧師と11名の青年たちの祈りをもって京橋新肴町(現在の西銀座3丁目)に創立されました。何度か移転した後名称を「東京第一基督教会」と変更し、1886(明治19)年に赤坂区霊南坂町14番地(旧会堂の所在地、現サントリー音楽堂ロビー附近)に土地約300坪(990.76 m^2)を購入し、木造瓦葺平屋(一部二階建)45.5坪(150.15 m^2)の会堂を建築しました。

1891(明治24)年から「霊南坂教会」と名のるようになりました。

霊南坂……………

江戸時代のはじめ
高輪の東禅寺が嶺南庵として
ここにあり開山
嶺南和尚の名をとったが
いつか嶺が霊に変わった。



ブラウニー

「大人になったら」

伊東 希依子

私は、発明家になってかわっている動物を作ってみました。たとえば、キツネリスとかを発明したいです。くだものを大きくつくる薬も発明したいです。

栗原 千春

おとなになったら、お花やさんになって、いろいろな花の名前をおぼえて、お客さんにもお花をすぎになってもらいたいです。

小原 史恵

私は、発明家になってたべものを大きくしたり、どんなよごれでもおちるくすりと、空をとぶマントとか、いろいろなくたつ物をつくりたいです。

小林 千沙

私は、大きくなったら外交官になりたくて、外国に行つてしごとをいっしょうけんめいがんばりたいです。そしてえらくなります。

関口 純子

おとなになったら、お花やさんになって、いろいろな花の名前をおぼえて、お客さんに教えて、お花を買ってもらいたい。

小野 鈴奈

わたしは、おおきくなつたらお花やさんになりたいです。どうしてかというとお花がすぎだからです。



馬場 麻琴

おとなになったら、ガールスカウトのリーダーになって、いろいろしてブラウニーかジュニアに教えてあげたいです。それで自分もしっかりしたいです。

松井 久美子

私は、大きくなったらピアノストになりたいです。なぜかというピアノが大好きだからです。それと、ピアノがやなほどひけるからです。

加藤 麻美

わたしは、大きくなったらケーキ屋さんになって、みんなにおいしいおいしいケーキをうって、どんどん大きな店にしたいです。

小林 麻衣子

おとなになったら、歌手になりたいです。そのわけは、テレビにでたいからです。それは、わたしがゆうめいになりたいからです。

小林 利里亜

私は、大きくなったら外交官になりたい
くて、外国に行ったらもつともつとお仕
事をいっぱいして、えらくなりたいです。

斉藤 愛美

私は、船でいろいろな外国の国に行つ
て、外国の人とお友だちになったり、ス
ーパーでおかいものをしたり、ハワイの
うみでおよいだりしてみたいです。

平林 菜穂子

わたしは、リーダーのお仕事はたいへ
んだけどリーダーになりたいです。キャ
ンプをしたり、スキーをしたりして、た
くさん楽しい思い出のこるといいです。

柳川 圭子

わたしは、大きくなったらアクション
俳優になりたいです。なぜかという
映画とかげきはすきだし、アクションは
映画などで見てて、おもしろいし、かっ
こもいいからです。

鈴木 咲樹子

私は、バレエの先生になって、いろん
な子にバレエをおしえてあげたいです。
そして、りっぱな先生になりたいです。

佐々木 聖子

おとなになったら、ピアノストになり
たいです。なんでかという
自分のきよくをきいてほしいからです。

田村 光

私は、絵をうまくして画家の先生にな
って、いろんな国にいつて、いろんな人
におしえて、すぐくうまくなりたいです。

東端 理絵

わたしは、おとなになったら歌手にな
りたいです。そのわけは、テレビにでて、
ゆうめい人になりたいからです。

村松 里紗

わたしは、おとなになったらピアノス
トになりたいです。いろんなピアノが
うまくひけるといいな。

藤沢 まひ子

おとなになったら、プロのピアノスト
になりたいし、テニスのせんしゅにもな
りたいし、金もちにもなりたいし、すい
えいのせんしゅにもなりたいです。

白田 由佳

おとなになったら、ようちえんの先生
になりたいです。学校の先生になりたい
です。おしろのおうじよさまにもなりた
いです。



鈴木 麻紗子

わたしは、スケートをめざしています。とつてもだいきです。スケートせんしゆになつてテレビにでて、みんなにみてもらうのがすきなんです。

竹内 美雪

わたしは、大きくなつたらぜつたいにガールスカウトのリーダーになつていふと思ふな。だつて、リーダーになればたのしいことがいふばい。

中田 信子

わたしは大きくなつたら、ケーキやさんになりたひです。どうしてかというふと、ケーキをつくるのがおもしろそうだからです。

中辻 杏奈

わたしのゆめは、花やさんになるゆめです。どうしてかというふと、花はきれいでにおいがきれいだからです。でも虫がついていふといふやです。

松井 香奈子

わたしは大きくなつたら、ペットショップか、リーダーになりたひです。リーダーになつたらキャンプでないちやつたけど、みんなとあそべるからリーダーがよい。

福島 香織

私は、發明家になつてくだものを大きくしたり、物をいふばい出すきかいを發明したり、なんでも病気をなおせる薬を作りたいです。



ブラウニーリーダー

「十年後のスカウティング」

本田芳子

想像力の乏しい私は十年後のガールスカウトを思い浮かべても、なぜか今のこの教会で同じ様なミーティングをしているところが浮かんできません。でもそれもいいなと思います。いつ遊びに来て土曜日には決って楽しい集会をしていたら、十年後にはすでにりっぱなおばさんになっている私はどんなにうれいでしょう。

でも変わっている点と言えば、今のブラウニーのスカウトがもうりっぱなリーダーになっていること。想像すると笑いたくなっちゃうけど、十年たったらみんなすてきな女性になっていることでしょう。「十年」はそれだけ大きく成長できる月日です。スカウトの成長と共に団の、またボーイスカウト、ガールスカウトの発展を心から祈っています。今のブラウニーの人数が変わらずにみんなリーダーになったらもっとうれしいです。みんながんばってね。

小久保 尚 子

十年前、私はスカウトだった。それから十年がたち、さらに十年後を考えると、その間の社会や文化の変化はどれほどのものだろうか。今、少しずつ各家庭に浸入してきたコンピュータが、すっかり浸透しているであろうその頃、青少年の育成団体の必要性はさらに増すのではないかと思う。そしてそれは、社会の多様化に即し、社会のニーズに応え、生涯教育がなされていくものである。少女達が年令にふさわしく行動できるよう、その情緒的、精神的、肉体的成長を支える（現在でもそれは大切であるが、これからはさらに人口も減少し自然も減って、子供達の生活経験が少なくなるのではないかと思うので）ためのものではなくてはならない。そして、もうひとつ付け加えるならば、四団の明るくのびのびとした雰囲気、十年後を支える人達も失なわないで欲しい。それが原点なのだと思うから。



永 山 理 恵 子

「十年後のスカウト活動について」いろいろと考えてみましたが、想像もつきません。十年前、ジュニアのスカウトだった当時の私を振り返ってみますと、毎週土曜日の集会・夏のキャンプ・バザー・お餅つき等さまざまな行事に参加して来ましたが、今思うとただリーダーの後について皆で楽しく過しているうちに、いろいろな事を学んできた様に思います。

今ブラウニーのリーダーを経験してみて、私達のスカウト時代に比べて「自主性」は有るけれども、「協調性」には乏しい様に思われます。やはり学校生活や家庭環境、その他の違いによるものかもしれません。

今後のスカウト活動では、家庭や学校では体験できない様な事を現在よりもっと広めて、伝統ある四団独自のスカウト活動が行なわれる事を期待しています。

小 峰 佐 和 子

スカウト時代は、友人に会い楽しい時間を過せるという理由だけでガールスカウトに通っていた。学校の友人にも「ガールスカウトって何？」と質問されても創始者の名前ぐらいしか答えられなかった。

恥しいことだが、昨年リーダー研修に行つて初めてスカウティングとは何かということを知ったのである。昨年はただその

スカウティングについて模索するばかりで、自ら計画、実行とまではいかなかった。

十年後といえ、今の私たちのブラウニーがリーダーになっている頃であろう。そのリーダーたちが、自分たちのスカウト時代のリーダーはどんなスカウティングをしたのだろうと振り返る時に、良い思い出がたくさんあるようなスカウティングをしてゆきたい。

これから十年間、時代やスカウト達が変わつたとしても、スカウティングの意義は変わらないのだから。



カブ隊スカウト

「大人になつたら」

クマ
榎川 晃彦

ぼくは大人になったら、仕事をまじめにやって生活を楽にしたい。やりたい仕事は、あまりないけど、ちゃんと仕事をやりたい。いろいろな人を助けあつていい日本、明るい日本にしたい。あと、ピルぽっかりじゃなくて、子供の遊び場をつくって、もんくがなくなつてもらいたい。あまり早くおとなにはなりたくない。やはり生活を楽にしたい。

クマ
内藤 達樹

ぼくは、まだ、しょうらいのことなんか考えていません。でも、なるとすれば、正常な人間になりたいです。(絶対に総理大臣なんかにはなりたくない。)
この文は、ふざけて書いたわけではない。まじめに書きました。

クマ
朝山 昌信

ぼくが大人になったら、緑が少なくなつて、カブが赤字になつて、つぶれていふと思ひます。青南小学校もつぶれていふと思ひます。でも、もしかすると、地球がぼく発してなくなるかもしれせん。

クマ
望月 康成

十年後は、ぼくが通つてゐる港区立青南小学校は、赤字でつぶれていふと思ひし、国の緑がへつていふと思ひ。そして、ぼくはお父さんの会社のあととりになつていふと思ひ。

(わけ)
それに、カブもつぶれていふと思ひ。
みんなじゅくに行つていふから。

クマ
日下部 達也

未来の日本はないと思ひ。日本列島はその時、海底にしずんでいふ。まあ、ぼくの場合、その時はないからいい。

シカ
石井 一也

ぼくが、大人になったら、この世界はぜんぜんちがう世界になつていふと思ひます。例えば、車が宙にういていたり、だれでも月に行ける飛行機があつたりして。でもぼくは、未来になつたら、みんな、ちよつとなまけものになるかもしれなふと思ひます。だって、ほとんど科学がやつてしまふから。だから、あまり便利すぎてもいけなふと思ひ。

シカ
柏木 武久

ぼくは、お父さんの仕事をついで、お金をあつめて、大きいビルを作り、その中にいろいろな店を開きたい。ぼくはサラリーマンなどはなりたくない。大きいビルを作れなくともお父さんの仕事をつきたい。仕事はつかれるけれど、おもしろそうだ。はやく、大人になりたい。



シカ
川 正 樹

小さいころは、うちゅう飛行士や飛行機のパイロットやコックさんになりたいと思っていましたが、今は何になりたいとは思っていません。けれどこじきやびんぼうな大人にはなりたくありません。

ウサギ
進 藤 誉 久

ぼくは、大人になったら、このちきゅう上は、どうなっているかなと思いました。ぼくは、（みらい）になっていると思います。どうなっているかな。

ウサギ
加 藤 裕 一

ぼくは、大人になったら、マンガ家になりたいです。マンガ家になって、みんながころげ回ってわらうマンガを作れるマンガ家になりたいです。そして、なやんでいる人たちも、みんな明るくなれるような、楽しいよろこんでもらえる、なるべくお金のかからないマンガを作れる人になりたいです。



カブ隊リーダー 十年後のスカウティング

隊長 藤 正 樹
内藤

日本の十年後、今とは大分違った環境となっていることでしょう。子供達の勉強、遊び、考え方、話し方、親との関り方、食べ物など二十一世紀直前で科学の発展と共にこの狭い地球から広い宇宙へどんどん思考が変っていきます。

より一般生活環境が便利となり、場所の移動などの時間要素が小さくなり、スピード化が計られ、効率の悪いことは一層敬遠されるようになることでしょう。

かたや、精神面では今以上に余裕のない厳しい状況になり多種多様な情報（特にコンピュータから出されるデータなどに）振り回わされ、それらの多くのデータの中から、正しい情報のみを見つけ出し有効活用すべく神経をすり減らすことになります。スピード、情報処理能力のある人が有望視され体力、精神共に頑強な人物を創り上げるようになるのでしょう。

そして、それらの知識、技術の修得時期が、年々早まり、子供達（小学生）の遊び自身、戸外で仲間達と一緒に走り、飛び回ったり、とっ組み合いのケンカなど益々減ってゆき、部屋に同じこもり、TV、コンピュータ相手に一日中遊び、勉強もTVを通しておこない、キーボードを操作することでなんでも出来るような社会になってしまっているでしょう。

こんな社会の中でスカウティングはどうなるのでしょうか。

機械を使いこなし、非文明的行動（キャンプ生活など）は、より一層嫌われるような時代、どんなスカウティングが必要なのか、今よく考える必要があります。たとえ（たぶん）こんな社会になり、その中で生きていくには機械操作、技術を身に付ける訓練が必要です。しかし機械に人が使われないようにするためにも、人間同志の人間らしいふれ合いを大切にしなければなりません。

人間らしさを保つには、神を信じ、機械にたよらない生活を仲間達と一緒に持ち、互いの考えを話し、同じ体験をして楽しむことが必要だと考えます。その体験の場が将来のスカウティング活動であり、この活動自身が訓練でなく、人と人のふれ合いの場となることを目指し、スカウティングプログラムも変わっていくことになるでしょう。野外生活のテクニックも必要だが、それ以上に皆で楽しむキャンプを中心としたプログラムを組み、実生活で体験出来ないこと（昔の生活形態）を仲間と一緒に計画を立て実施していくことが十年後またはもっと先のスカウティングとなるかもしれません。

リーダーも現在のボランティアから専門職業と移っていくことでしょう。ともかく現在のスカウティング活動をそのまま維持して十年後まで行くことは不可能、スカウト活動をジリ貧にしていくのではと思います。スカウト活動を存続させていくためにも、ここで再度スカウト活動の意義を見直し、皆んなで後輩への指導に重みを置き、頑張っていきたいと思います。

副長 浦野 須磨子

ある夏の日、遠くでゴロゴロ雷様です。ア、鳴っているな、まもなくすごい雨足で夕立がきました。ゴロゴロドカン雷様も大怒り。突然絵に書いた様な稲妻が目の前をはしり、家のそばにあるトランスに落ちたのです。耳をつんざく様な音そして家の中は急に江戸時代に逆もどり。ローソクだ懐中電燈だともっくらな中をウロウロ。皆さんも一度はこんな経験をした事があるでしょう。昨年の三原山大爆発の自然の力や、昨日は山の手線が停電をして駅では大混乱でした。世の中には私達の予期しない事がたくさんありますね。

今から八十年前ベーデンパウエル卿は二十人の少年達とブラウンシー島で初めてのキャンプを行ないました。そして大成功だったと伝えられています。キャンプをたのしむためには正しいやり方を知らなければなりません。テントのたて方、火の起こし方、又知らない土地で夜でも昼でも道をみつける方法などです。"そなえよつねに" 私達はスカウトのモットーを胸に十年後も同じ様な活動をしていると思います。



デンマザー 川 洋子

デンマザーとして、御奉仕させて頂いて、子供の持つ内面的ないきいきとした物に触れることが出来、本当に良かったと思えました。それは、きつと無邪気な素直さなのでしょう。こちらの持つて行き方一つで、子供達はどんな色々な面を見せてくるんですね。

そんな時、体は大きいけれど、本当に可愛いなと思う時でした。しかし、こう思える様になったのは半年過ぎてからのことでした。

始めの半年は夢中でした。楽しかった心に残る夏のキャンプ。テーマは「ロビンフッド」、スタンツにはいささかまいりました。練習不足でどうなることやら、不安で一杯でした。とにかく、その場をつくらう事よりありのままのままでと思い、恥ずかしさを凌ぐつもりでおりました。最後は、組長を中心にみんなが頑張って、賞をいただけただけのもの、デンマザーが背負いすぎと、大いに反省した事もありました。

下の子を連れて、月四回の集会は大変なことでした。お休みしたいと思うこともありましたが。しかしスカウト達が来ると思うと、休んではいられません。夢中になって到頭一年たつてしまいました。振り返ってみると、至らないことが沢山ありましたが、デンチーフの協力や、隊長を始め、あたたかく見守って下さった方々に感謝の気持で一杯です。奉仕させて頂き、団は多くの方により支えられていることを痛感致しました。

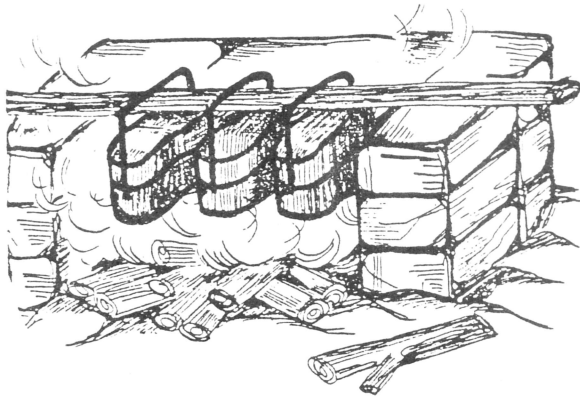
団四十周年に当り、これからの発展を陰ながら、お祈りしております。

デンマザー
石 井 豊 子

我団四十周年と言う記念すべき年に、デンマザーを引き受け、自分の力不足や経験不足を痛感すると同時に、キャンプなど素晴らしい体験を通して、いろいろな事を学ばせて頂きました。

今の子供達は学校で勉強を教わり帰ってからも習い事や塾などに追われると言った常に受身の立場にあります。又、物質的に恵まれすぎていて物の大切さを忘れていきます。いくら物質的に恵まれていても心がずさんでは幸福とは言えないはずで
す。

ボランティア活動が盛りあがらないのも、精神的に満たされていないからではないでしょうか。我団では、スカウト活動を通してキリスト教精神にふれる事ができます。ふれる事によって、スカウト達がお互いを尊重し合い、自主性、思いやりの心を育て、立派なスカウトになる事を期待しています。



ジュニアスカウト

「大人になったら」

加藤 康子

私は小学校の先生になりたいと思う。青山学院の初等部に通って、いい先生に会い、そう思った。自分では、今の学校が大好きなので、むいているのではないかなと思う。まず、自分にきびしく、充実した毎日、身のまわりの整理などしなくてはならない。そのためにはガールスカウトで組長をし、リーダーになれば勉強になると思う。これからも休まず、ガールスカウトに出席したい。

正田 紋子

「大人になったら何になる？」と聞かれても全然考えていない。そんなの大学に入ってからでいいと思っている。今まで何回か考えた事があるが決まらない。小さい頃は、お父さんと同じにしようと思っていたが、本を読むたびコロコロとかわる。それなら、いっそのことふつ

うの人でいいと思う。でも、いつかは決めるのだから一応人の上にたつ人になりたいと思う。

伊豆村 由里

私が大人になったら、小学校の体育の先生になろうかなと思っている。最初はスポーツ選手になりたかったんだけど、やっぱり、今、先生によくおこられてるし、小さな事でおこる先生だから、そのおかえしみたいに子供達をおこってそのしかえしをしたい。

でも、そのようなことだけじゃなくて、子供達が楽しそうにゲームをやっているところなどが見たいから。

神谷 英恵

私が大人になったら、どうなっているかは、わからない。でも私の希望は、霊南坂の幼稚園の先生になりたいのです。どうしてなりたいたかの理由は、この霊南坂幼稚園の卒業生でもあるからです。それから私は、小さい子がとても好きということがあります。どうしてかという、私はのびのびしている子と遊ぶのも好き

だからです。だから私は自分の夢を実行していきたいです。

西尾 舞香

大人になったら、わたしは、幼稚園の先生になりたいと思います。それは、小さい子が好きだからです。小さい子は、めんどうを見るのが、大変だけど、がんばって、小さい子のめんどうを、見たいと思います。

岡本 美恵

私は、大人になったら、小学生の先生になりたいと思います。

もし、先生になったら、勉強もやるけれど毎日毎日、子ども達のやりたいことを、いっしょにやりたいのです。それは、大人になっても、今のように思いっきり遊びたいからです。その遊びも、おとなしい遊びではなく、バスケット・サッカーなど、かっぱつな遊びもやりたいと思います。

村 井 美登里

私が大人になるころは、きっと文明が発達しているだろう。そしてロケットで簡単に宇宙を飛び回れるようになり、私は友達といっしょに宇宙を飛び回って、星々を探検したい。そして今度来るハレーすい星はロケットの中で見たいなあ!!
でもこれは、夢の又夢だから、実現できないと思う。でも、もし実現できたらうれしいです。

鈴 木 美樹子

私は、大人になったら、ふつうのお母さんになりたいと思っています。なにか、特ちょうを持ったお母さんになった方がいいと思うのですが、なんでもできるお母さんになるなんて自分ではあんまり気がすまないのです。

本当だったら、エレクトーンの先生になろうと思っていたのですがお母さんに変わりました。またいつか、お母さんからなにかに変わるかもしれません。

齊 藤 明 子

私が大人になったら、小学校か幼稚園の先生になりたいと思っています。それは、人に何かを教えたりするのが好きだからです。でも、一生けん命がんばらなくては、小学校か幼稚園の先生になれないかもしれません。が、やってみたくいです。これからも、小学校の先生か幼稚園の先生になれるように、がんばって行きたいです。

豊 田 妙 子

私は、小さいころ大人になったら、マンガ家になりたいと思っています。今は小学校の図工の先生になりたいと思っています。

それは、絵や工作を作るのが、好きだからです。

もし図工の先生になれなくても、幼稚園の先生か、お習字の先生とか、なにかの先生になりたいと思っています。

鎌 田 舞

大人になったら、保育園の保母さんになりたい。保母さんになって子ども達とあそびたい。遠足や歌をうたったりお弁当をみんなといっしょに食べたりして。みんなとなかよくしたい。

関 口 裕 子

大人になってからなりたいものは、ピアノになりたいと思います。私は今ピアノをやっています。それで、このままやっていたらピアノになれると思います。もし、ピアノになりたいと思ったら、ピアノの先生になりたいと思います。でも、私はピアノになりたいからいっしょけんめいに練習したいと思います。ピアノの先生になるために。



馬場 愛美

私は、ようち園や保育園の先生かスチュワーデスになりたい。でも、スチュワーデスの方がいい。でも、背も低いし、英語も計算もへただけど、これから背のぼし、英語と計算もがんばりたい。だめかもしれないけど一応がんばってみようと思う。でも、もしなれたらお母さんやお父さんを、外国に連れてってあげたい。もしなれなかったらようち園の先生になりたい。

天野 あゆみ

私は大人になったら、学校の体育の先生になって、みんなうんどうしんけいをよくさせて、私のいる学校のせいとをみんなたいてくのせんしゅにしてあげたい。そして、お金をたくさんためて、一人でいろんな所に旅こうをしにいったって、海外の人と友達になって、世界中の人と手紙のこうかんをしたり、食べ物がなくて水もなくて、世界の中で苦しんでいる人々なくしたい。

川瀬 由紀子

私は、英語に入ってから三年生までやっていたけれども、四年の一学期ごろやめてしまいました。それでも、いつもしゃべりたいと思う。それは、お父さんの高校がアメリカの学校だったからです。だから、英語をいっしょうけんめいやって、アメリカの高校に入りたいと思う。でもやめてしまったから、いつ入るのとお母さんに聞くと中学校に入ってからといわれたからがんばる。

森 由美子

私は、大人になったら音楽の先生になりたいな。と言うのは、たんなる「夢」で、ほんとは、何になるか分かりませんが、なるべくなら、その「夢」をかなえたいな。と書いています。でも、今の私には、将来など分かりません。大人になるのが楽しみです。でも、お父さんやお母さんは、子どものころにもどりたいな、と言っています。

本多 千春

私が大人になったら、きつと結こんしても働くと思います。

たとえば、国際こう流が出来る仕事がいいと思います。

私の学校では、二年生から英語をならうので、そういう事から、国際こう流が出来る仕事をやりたいと思います。

村松 真麻

私は、大人になったら、ピアノストになりたいです。今は、かんたんすぎてわらっちゃうくらいだけど、もっと練習すれば、みんながおどろくほどうまくなりたいな。いつになったらうまくなるかな。早くピアノがじょうずになりたいな。未来の私って、なにをしてんのかな。ピアノがへたでないでるとか、ピアノがうまくないでるとか、

谷山 瑞穂

私は、大人になったら、ピアノの先生になり、小さい子たちに教えてあげたい。そして、教えた子たちがうまくなって、「ピアノを教えてもらってよかった」と思うようになってほしい。

ピアノを教えるだけでなく、ピアノストになり、ぶたいに出てみたい。

ピアノの演奏を見に行ったとき、すごくうまいと思ったから。

長谷川 恭子

私は、大人になったら、保母さんになりたいです。大人になったら、なりたいたい職業がわかるかもしれないけれど、今は、保母さんになりたいです。なぜ保母さんになりたいかというと、小さい子をあずかるのはたいへんだけど、かわいい。幼稚園の先生はだいたいやることが同じだけど、保母さんのほうがなぜかやりたいです。できれば今すぐにでも……。

正田 拳子

「大人になったら〇〇になりたい」なんてありません。でもふじんけいかんや主ふはイヤです。

ふじんけいかんは、いのちがけだし、主ふはおもしろくないからです。

私はまだ、しょうらいのことについて、きまっています。これからきめるつもりです。

エル・ガマールフアリイダ

わたしは、大人になったらようちえんのせんせいになりたいとおもいます。なぜかというと、子供がすきだからです。それからようちえんのせんせいだと、じぶんでたのしめるからです。ようちえんのせんせいになったら、じぶんでたのしのおもいをしたいとおもいます。

野添 彩

私は大人になったら、小学校の先生か、ようち園の先生になりたいです。でも、ほとんどなんにもなりたくないです。家でのんびりしているか、家でおけいこを教えるのがいい。そろばんの先生にも

なりたい気もするけれど、そこまで行くのが無りかなと、思うこともあります。なんでもいいから先生になりたい。図工科の先生になりたいな。絵かきにもなりたいな。

鈴木 千代子

大人になったら、青松幼稚園の先生になりたい。けれども、青松幼稚園は、いまも人数は、三十人いるかないかなので、私が大人になったころは、ないかもしれない。あとは、美よういんの人になりたいです。(これはなんのいみもない。)



岩 倉 玲 美

大人になったら、世界中を旅行してみたいと思います。一番行ってみたいところは、スイスです。私は、スイスのきれいな山が好きです。とくに春たくさん花がさいている、アルプス山脈がともきれいだと思います。いろいろな国のいろんな人をしりたいと思います。

天 野 し の ぶ

私は、幼稚園の先生になりたいです。どうしてかというと、みんなで歌やおどりをうたったり、おどったりしたいからです。あと私は子どもが好きだからです。子どもが好きなのは、やりたい放だい遊んでくらすから……。それとも、お店をひらきたいです。お店も花屋です。お客様にたくさん安く花を買ってもらって、へやいっぱいにかざってほしいのです。

初 島 宏 美

私は、大きくなったら、看護婦さんになりたいと思っています。患者さんから好かれるやさしい看護婦さんになって、病気でこまっている人を助けてあげたいです。そして日本だけでなく、病院がなくお医者さんがいないという、こまっている国で働いてそういう国の人をたすけてあげたいです。

平 野 は ず き

四月がくると、六年生になります。今はもう、来年の中学受験のことばかりです。ずっと前には、小さい子の世話をするのが好きなので、幼稚園の先生とか、動物のお医者さん（血を見るのがこわいのでやめた）になりたいと考えたこともあります。私の希望の中学校に入れた時そこで私に合う、将来の目的を一生けん命さがそうと思って、今は勉強しています。

野 口 亜 由 美

大人になったら幼稚園の先生になりたい。小さい子が好きだし、せわをするのも好き。それからお店のお手伝いもしたいし……とにかくやりたいことはいっぱいある。でも、どんなに仕事がたいへんでも、一週間に一度、いや一ヶ月に一度でもいいから、友達に会いたい。いつになっても、友達に友達だもの。今、私がいちばんたよりにしているのも友達。大人になっても友達と……。

古 池 美 和 子

大人になったら洋服を作ったりおかしを作ったりできる大人になりたい。それから小さい子のめんどうをみたりする仕事をしたい。

私は小さい子が好きだし、見ていたりすると自分も小さいときはこんなだったのかなぁと思ったりする。本当になれるかはわからないが、おかしを作ったりするのはやろうと思えばいつでもできる。本当になれるかとも楽しみ。

中 島 美 紀

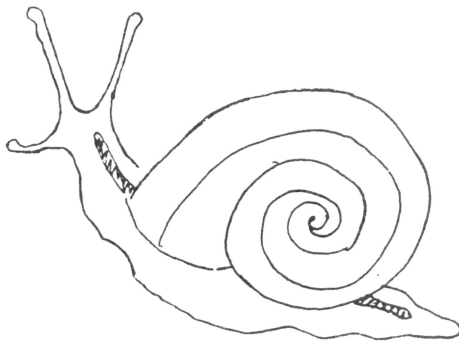
私は、別にゆめとかはないんだけど、大人になったらとにかく早くっこんして、いい家庭を作りたいと思っています。でも、なりたいたいものはあるんです。それは、マンガ家か、絵かき屋さんとか、ほぼさんになりたいと思っていますけど、そのどれかになれるかは、大人になってみないと本当のことはわかりません。どんな上にあがっていくから、どうなるかわからない。

斉 藤 牧 子

私は、大人になったら小学校の先生になりたいと思います。
なぜかという、いろいろな事を教えたりできるし、遊ぶような事などもできたりするし、今私の通っている小学校のような感じの所みたいだったら、いいなとか思ったりするので小学校の先生になりたいと、思っています。

井 手 元 恵 美

私は大人になったら、ピアノの先生になりたいです。そして今からたくさん練習して、たくさんのお生とにいろんな曲やうたをおしえてあげたい。作曲家にもなりたいし、ピアノリストにもなりたいし、学校の音楽の先生にもなりたいし、ふつうの学校の先生にもなってみたい。やりたいことがいっぱいあるな。



ジュニアリーダー

吉川千露

「十年後のスカウティング」

三村比奈子

私がリーダーとしてスカウトに願うことが二つある。一つは、例え十年たってもジュニアの集会やキャンプでの様々な出来事を、どんな形ででも構わないから、覚えていてたまに思い出してくれたりということ。もう一つは、友だちを大切にしてほしいということである。事実、私も小学生の頃から現在に至るまでの十年以上にも及ぶ間、ずっと変わらず親しくしてきたのは、GSの友だちをおいて他にないからである。長い間とぎれることなく親しくしてきたのも、土曜日の午後に会うからであって、それは今も変わってない。そしてこれからも変わらないだろう。これからの十年間は、今までよりもっと変化に富んだ年月であろう。苦しい時や悩んでいる時にはお互いに助け合って、生涯つき合っていけたなら、GSのもたらす力は計り知れない大きなものであり、十年後のスカウト活動にも不安はなさそうである。

年々、スカウト数が減少している地域もあると聞くが、幸い私たちの団はシニア・レンジャーと続けているスカウトが多いように思う。なぜだろう？

私も、中学、高校とクラブ活動が忙しくてほとんど集会には顔を出さなかったが、なんとか続けて来た。休んでいても、長い間、会えなくても、「元氣？」の一言から会話が弾んでしまう『何か』があったからだと思う。スカウト活動を通して、そういう「何か」を見つけて欲しいし、十年後も見つけられる場所でありたいと思う。

井出奈々子

私がリーダーになって、一年がたった。この一年は今までスカウトだった時よりずっと、ガールのことを考えていることが多かった。

ジュニアの頃、テントのたて方、縄結び、たくさんのおもしろスタンツ、なんでもできるリーダーが羨ましくて、リーダーになることにあこがれていた。自分もリーダーになれば何でもできるようになると思っていた。でも、すぐに何でもできるわけではなかった。私にはまだまだ知らないことばかりだということ、この一年で思いしらされたような気がする。これから先も大変だ。

岡 部 加 苗

ブルーの制服を初めて身につけ、胸をときめかせて入団したあの日。強い日射しの下で竹やまきを割り、4日間寝泊まりするテントをたてた夏キャンプ。思考を凝らして楽しんだキャンブファイヤー。大好きな讃美歌を大きな声で歌ったクリスマスマズ礼拝。

十年前ジュニアのスカウトだった私は、毎週土曜日の集会が楽しみで仕方ありませんでした。一週一週ごとにいろいろな歌やゲームを覚え、たくさんの方ができることが何よりもうれしかったものです。そしてあれから十年。私は今、ジュニアの子供達と一緒に、新設された教会で集会を楽しんでいます。リーダーとして常に心掛けていることは、子供達にとって心に残る楽しい集会を行うということです。そして、今のスカウト達が一人でも多くリーダーとなることを楽しみにしています。十年後も今と同じスカウティングであってほしいと願っています。

瀬 崎 伊 都 子

今から十年前は、私はまだジュニアスカウトだった。その頃は、やはりガールスカウトの集会に来て遊ぶのに夢中で、先の事など考えもしなかったし、まさか今、自分がこの様にリーダーをしているなんて思いもしなかった。十年たって、人も街も教会もすっかり変わってしまったな、と改めて十年間の歳月の重みを感じる。

十年後のスカウティングは、一体どうなっているのだろうか。想像もつかないが、きっと今のジュニアのスカウト達が、リーダーとして活躍しているだろう。皆のこれからの成長がとても楽しみだ。私が一番望む事は、これからのスカウティングの中で、スカウト達に多くの事にチャレンジしてほしいという事である。そして、スカウト活動でしか出来ない事、多くのスカウティングとその良さを、次のスカウト達へと受け継いでいってほしいと思う。



「四十周年に寄せて」

矢 沢 宏 子

「もう四十年……」そんな声が聞こえそうです。十周年の時
からだから私は三十年も、歴史輝く靈南坂に通っているのです。

数えきれない程のスカウト達が、その心と身体に、B・P卿の
教えを受けて巣立っていったことでしょう。最近覚えた歌に、

「春だ、春だ、春だ、仲間の春だ、手と、手と、手と、手と、

手と手と手と手と……仲間の春だ」解かりますか？ 友情の輪

が出来ると思いませんか、すべての人達が手をつなぎあった時、

ガールスカウトであって良かったと思えたら素晴らしいですね。

レディB・Pの言葉を贈ります。

私達を一つに結ぶくさりの輪

友情の輪というのでしょうか

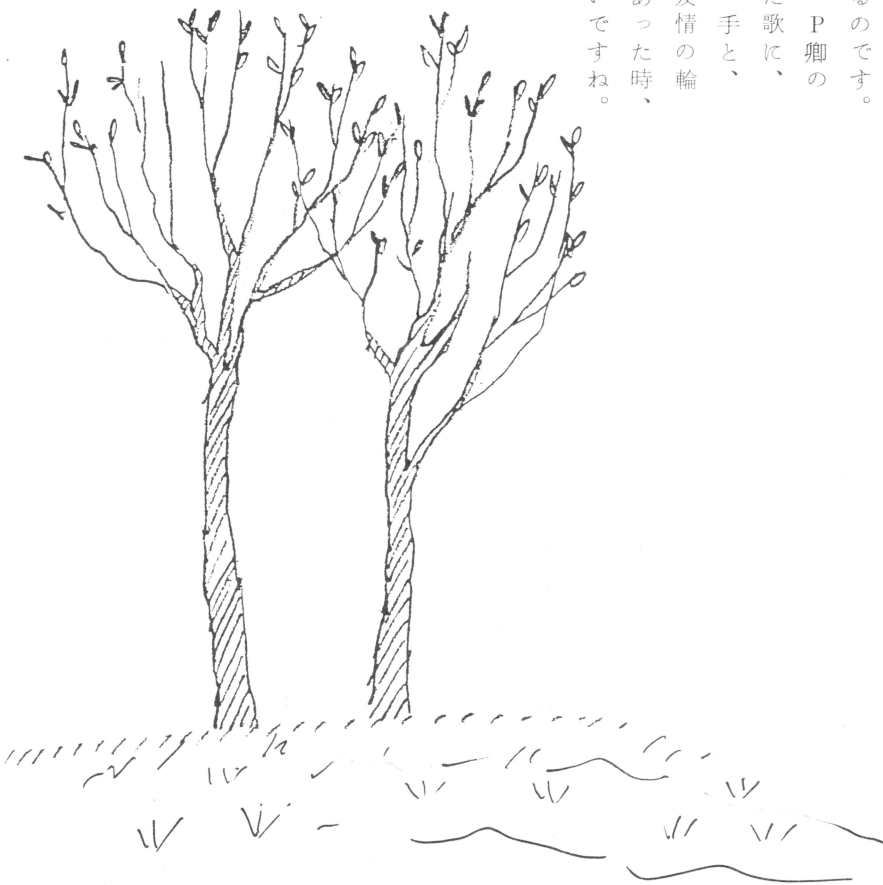
元気づけてくれたり

アドバイスをしてくれたり

そして

最上の奉仕をなしとげるために

友情の輪が必要なのです。



ボーイ隊スカウト

「十年後の私」

神谷 之和

十年後の私は、だれにもわからない。
十年後の私は自分で作るの、ぼくも、
自分の十年後を作りたい。ぼくは、この
ままスカウトをつづけ、スカウトのリー
ダーになってみたい。そして楽しくおも
しろい港一団を作って見たい。そして、
五十周年記念を盛大に祝いたい。

加茂 司

十年後、ぼくは、いったいなにをして
いるかわからない。それは、十年たつて
みなければわからないからだ。
もしかしたら、サラリーマンになって
いるかもしれない。それとも、警察官に
なっているかもしれない。もしかしたら
もうこの世にいるかわからない。
だから、十年後はなにをしているかわ
からない。

山寺 淳史

十年後、自分は二十五才、できれば普
通企業の普通社員になっていければそれで
十分なのだが、そういう希望が叶うには、
高校、大学の合否が大きくものをいうと
思います。特に高校に受からないことに
は話になりません。

あと数週間で高校受験という今、十年
先のことなどを考えているひまもなく、
数週間先の入試だけが脳裏をかすめてい
る毎日です。

横山 俊夫

十年後のぼくは二十五才である。「あ
つというまに大学を出て会社に入社し数
年がたつてしまった」というころだろう。
コンピューターのハードかソフトを作っ
ている会社に入社していたらいいと思う。
それ以外の仕事、特に奉仕や戸外系の仕
事はむいていないようだ。もし技術系に
いけなかったら、うちの仕事を手伝って
いて、継ぐ事になるだろう。そうして平
凡に暮らしていると思う。

山寺 洋輝

今、私は十四歳だから、十年後の私の
年齢は二十四歳になっている。

十四歳から十年たった二十四歳になっ
て、十年前、つまり現在を思いうかべる
と、じつにだらけて、じつに勉強をし
なかったことをあとになって、後悔する
と思う。

それが、目に見えてるとなると、今か
ら、きちんとしなければならぬのは、
なにもかも、つまかさねが大事だからだ。

小田 諭

人の将来には興味があるのですが、突
然、自分が将来どうなっているかときか
れるとこまってしまう。

まあだいたいの予定としては、僕は趣
味が読書なので小説家にもなりたく
思っています。それから、僕は今、ボー
イスカウトなので、ボーイスカウトのリー
ダーにもなりたくです。

もしかしたら、大人になるまでの間に
予定が変わるかもしれませんが……。

大貫 尊 康

十年後は二十四歳、もうりっぱな社会人である。僕は、単純にただ会社に勤めて、働らこうと思っていたが、一時ボーイかカブのリーダーになろうとあこがれたことがあった。しかし、僕は優秀なスカウトではないので、なれることは難しいだろう。

でも大人になって、僕の子供に「スカウト」というものを経験してもらいたいと思う。

小 峰 幹 央

僕は十年後といっても二十四歳なので大学を出て、どこへ就職しているか、わからないが、目標は幸福な人生をおくりたいので立派な大人になりたいです。小さくてもいいから自分の会社を持ちたいです。それが僕は宇宙が好きなので宇宙のことを調べる科学者になりたいです。十年後は僕にとっていちばん大切な時期だと思うので、その時期をいかに有効に使えるかで人生が変わると思います。

内 藤 裕 樹

ぼくは十年後には生物のことで研究をしてみたいと思っています。その中にもあまりせいたい知られていないような動物を研究したいと思っています。それにはかなり勉強をしなくてはならないと思うけれどここが気になるところです。ただどがんばりたいと思っています。本当になるかはわからないけれど動物のことをいろいろ知り自然のことを考えられる人になりたいと思います。



ボーイ隊リーダー

「十年後のスカウトイング」

隊長

筒

井

一

雅

今から十年前、三十周年のとき、私が十年後にボーイ隊の隊長を務めているとは、自分自身すら予想がつかなかったことだ。つまり、十年後の予測をすることは、どれ程難しいことであるのかを身をもって知っているのである。(これは普通皆そうであろう。)

しかし、あえて十年後のスカウト活動を語るならば、それは理想の追求に終りかねない部分がある。なぜなら、今の日本のスカウト活動は、多くの矛盾をかかえた組織の中で行なわれているからである。この組織は、スカウト活動を通して、現代社会で生きる子供たちに、多くのことを期待しているのである。それは、為政者の意向に合う青少年であり、上に忠実な人間の育成という点であろう。

私は、十年後のスカウト活動(日本の)に対して危惧の念で一杯である。平和か戦争か、その使者となるか、手先となるのか…。本当に十年後が心配でならない。スカウト活動とは、本来唯の遊びにすぎないのだから…。

副長補

浦

野

真

生

ここ数年来、ボーイスカウト人口は序々に、しかし着実に減少傾向を見せている。我が港一団は四十年の永きに渡る伝統の中で今やその渦中にある。

港一団のボーイスカウトの減少だけに目を向けたら物理的要因はいくつか見い出せるが、巨視的にとらえる場合、問題の本質は根本にあることを認識しなくてはならない。

一言で評するならば、スカウト運動が時代にそぐわなくなってきたのである。それは逆にBIP以来時代の流れに対し過度に保守的であったことを意味する。基本原理を踏まえつつ、実践面では時代に適した指導をしなければならぬのである。十年前と今とは社会環境が大きく変化しているという現実を直視しなくてはならない。

十年後へのより確かな前進の第一歩の為に、以上の達成を再考して新しいスカウトイングの理想を追求することこそ、我々指導者の課題であり未来への指針なのではなからうか。

「回顧録」

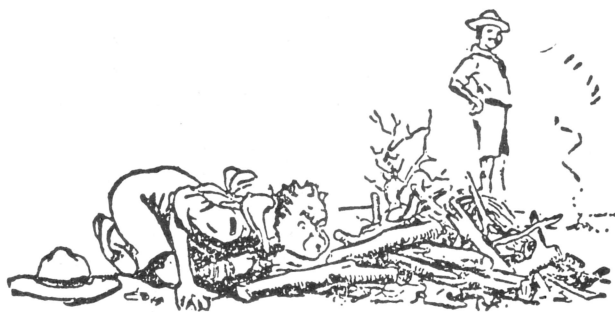
大 槻 敬 太 郎

「大丈夫かなうまくやれるだろうか」、「なるようにしかならないよ。余り心配するな」、今から十年前の夏にキャンプの備品を揃える私の胸の中はキャンプを目前にした新入隊員の気持とまったく同じでした。前年の冬にボーイ隊長を引き受けた当時四十二才の私にとって初めての隊キャンプだったからです。

隊リーダーは当時大学生の菊地、安藤、安西の諸君と私の四人でしたが、彼等三人はいずれも霊南坂でカブ隊からのスカウト経験を持った個性のある人間で、不安になりがちな私を常に励まし又助けてくれました。

キャンプに参加したスカウトは十一人でしたが半数以上がキャンプは初体験の為に、第一歩から教えねばならず又毎日定期便のようにやって来る夕立ちに苦しめられました。三人の諸君は各自が分担した仕事を手際よく処理してくれたので私は本当に安楽椅子に座ったような楽な毎日を過す事が出来ました。今ふり返ってみるとあの時に彼等三人との出会いが今日の私を拵えたのではないかと考えられます。

現在は三人の諸君も仕事の関係で別々の場所に居りますが、又いつか一緒にキャンプが出来れば幸だと思えます。



シニア・スカウト

「十年後の私」

中 島 美 保

十年も経つと皆んな変わってしまった人が多いと思う。その点、私はちっとも変わらない気がする。

自分で自分が大人になったところなんか想像したくもないし、考えたくもない。もし、考えると、いじ悪い人間になっているかもしれないし、逆に、なんでも私の方が……という人間に考えてしまう。絶対、自分を自慢したくないからである。

だから、「十年後のあなたは」と聞かれたら、答えられない。もしかしたら十年の間に変わってしまうから。

伊 豆 村 真 里

十年後の私といっても、小さい時の夢のような「私」は今ではとても、想像できません。たいして将来の希望もないし、大人になったらこうしなくてはという責任感もないようです。悲しい事だと自分で思います。私に言える事は、今、やれる事をやっておかないと必ず「十年後の私」は、後悔をするでしょう。なぜかという、今でも過去を振り返ってみて、「なんでこうしなかったのだろう」と悔やむ事が山ほどあるからです。

「十年後の私」不安です。だから、今十四歳の私は「十年後の私」の為に、できる事は何でもしようと思っっています。私の

「十年後の私」の理想は、良き女性です。こんな事を書くも恥しいけれど、その為にガール・スカウト活動が続けているのだし、やっぱりそうなるべきでしょう。

十年後は今の私には見えません。でも世界を広く見、生きていけばきっとすばらしい私になれると思います。

阿 部 由 季 子

十年後と言われても、私は全然考えたことがありません。でも、幼い頃から、色々な夢をもっていました。小学校までは、ケーキ屋さんにつきごくあこがれていて、ケーキを作るのに必要な道具や材料を買ってもらい、よく失敗をしました。

中学に入学してからは、部活に入り、また違った夢ができて将来という事を、すこし見ようと思うようになりました。今、私はほんの少し未来の事を考え、計画を立てています。

十年後私は、二十五歳という年齢で、もう成人式もすぎて一段落していると思います。もしかしたら、お店を出して、みんなの胃の中に、私が作ったケーキが入っているかもしれない。私は、ケーキ屋さんでもなんでも、将来は、人に夢を売る仕事をやりたいと思っています。私がどんな人間になるかは、楽しみにしてはしいです。

樋口隆子

私の夢はシナリオライターです。でも果して、この作文の題のように、十年後の私がシナリオライターになっているか、という自信はあまりありません。でも夢です。自分の好きな事を職業として一生をかけてとげれば、大変幸せな事だと思います。

実をいうと今の私は映画に夢中です。時には一本の映画のために、一日中劇場にいる事もあります。映画というのは娛樂ですが、時には人、一人の人生をかえる事もあります。

名作には必ず名セリフがあります。シナリオライターは、そのたった一言の為に何日もかけて考えるそうです。それは、その一言の為にこの作品の価値が決まるからです。

私の十年後は、例えシナリオライターになれていなくても、きっとスクリーンの中のヒーローやヒロイン達と共に、いつまでも夢を追っているかもしれません。

伊藤 亜子

今年私は十六歳になります。そして、高校生にもなります。今までの学校生活とはちがいで、自分でいろいろせんたくして、やっていかなくはいけません。そうして、大学へ行って、会社につとめ、色々なことをせんたくして、考えながらこれからすすんでいかなくはいけません。そういうことをしながら十年たった時、私は、何をしています、どういう人間になるのでしょうか？

幼稚園の時、婦人警官とか、スチュワーデスなどがやりた

いと思っていました。今では、やりたいという仕事はありませんが、自分が本当に一生懸命はたらけて、国際的な仕事ができるくらいなあと思っています。もしかしたら、ガールのリーダーをしているかもしれないね。そうして、あの頃は……とか、色感じながらやっているかもしれません。そうだったらイナ……と思います。

山田 里絵子

二十四歳。山脇学園中学・高校・短大卒業。中流会社に勤め、その後結婚。そううまく行けばいいけど。好きな人と、好きな事して、楽しく暮せればいい。「すべては金だ」って割り切るのもいいけど、割り切りすぎるのは好きじゃない。今好きな人と、将来好きな人が違ってもその時その人が好きなら、それでいい。

私は十年後、これをそのまま守っていないかもしれない。それはとても淋しいけれど大人の世界は良く分らないから、できるなら知りたくないけど、十年後、もう私は大人である。十年後、おごりたかぶった大人になるかもしれない。子供の好きな優しい大人になるかもしれない。どっちにしたって変わらないのは、大人であるということ。私は大人なんて分らない。私は子供から見ても、わけの分らない大人になるだろうか。好きな人にさえも正直になれない大人になるだろうか。十年後大人になる。

鈴 木 心

まずは十年後、自分がどうなりたいかという理想。二つあります。第一は「獣医になること」第二は「北海道のムツゴロウ王国に行くこと」です。もしもムツゴロウ王国へ行くことができたなら、毎日を動物に囲まれて暮らしているでしょう。もしこの理想がかなえられなくても、せめて少しは動物に関連のある職業につきたいです。

今はこんな事を夢のように語っているだけです。この夢をぜひ実現させたいです。とはいっても頭の悪い私では獣医などもつての他、せいぜい〇しにでもなっているんじゃないでしょうか。三、四年前「十年後は」と聞かれていたら、きつと「そんな先の事分かんない」と答えていたはず。でも今は答え方はちがいます。その答えは「何としても獣医になりたい」と答えます。

どうか十年後の私が獣医でありますように。そして十年後の私に「グッド・ラック。」

大 浜 美 和

十年後というと、二十四歳にあたります。その時は、きつと就職している事でしょう。

私の夢は、父について、デザイナーになる事です。いいえ、夢ではありません、絶対にデザイナーになるのです。だから就職って言ったら、デザイナーに関するものになると思います。

十年後は、私にとっては、一番すてきな時期なように感じます。そして、いろんな事、例えば中学・高校・大学の時に、好

きな事をしたくてもできないことを、十年後の私がきつと、やりとげている事でしょう。

このように、よく十年後の事について、考えてみると、たくさん、つらい事や、もちろんうれしい事もあると思います。けれど、それをのりこえて十年たつのです。もう少しの辛抱だと思ふとなんとありません。がんばって、早く大人になりたいです。

梅 沢 弥 佳

自分の十年後なんてあまり考えたことがありません。とにかく思うことは二十三歳です。世の中では大人という年です。わたしのようなあまえんぼが、ちゃんとした大人になれるのかと心配です。

わたしは将来の夢というものを一つに決めたことがありません。だから十年後の私はどうなっているかということがわからないのです。ただ一つ、はっきりしていることは、東京四団のリーダーになっていると思います。ブラウニーでもジュニアでもどこのリーダーでもいいから四団のリーダーで教えたいと思います。そのことは本当に長年の夢でした。りっぱなリーダーにならなくてもいいから、好かれるリーダーになりたいと思います。

今はまだ十年後ははっきりとはわかりません。でも、長年の夢だった好かれるリーダーを目指して、これからも楽しく、明るく、はりきってがんばりたいと思います。

相 優 子

十年後といえ、私は成人式を迎えた大人になっているでしょう。もしかしたら、四団のリーダーをしているかもしれない。そうなればうれしいです。小学校の一年に入学をした時、ブラウニーに入団しました。入団してから今日までリーダーにいろいろなことをおそわり、おそわっていきます。リーダーになりこのことをこれからガールスカウトに入ってくるスカウトに教えてあげられればと思います。それとも、もしかしたらお嫁さんに、とも考えています。易しい夢ばかりでなくもっとスリルのある事も考えてもいます。例えば、女性パイロット・検事・スポーツの選手とも考えてみました。

いろいろなことを考えてみても私達が今、平和な国にいるからだと思えます。夢が実現できるようにいつまでも平和でいてほしいと念じています。

白 崎 美 砂 子

十年後の私の年は二十三歳。いったい何をしているのか当然分らない。もしかしてOLになってたり、大学生になっているかもしれない。

私はいちおう高校に入って、大学に行くコースの一般の事を今では考えています。もちろんガールスカウトも続けたいと思っています。

まず十年後の世の中は、平和であると願いたい。そして震災もなく、戦争もなく住みやすい十年後と思っています。そして十年後の私は何不自由なく、たぶん平和な大人になると思

っています。

あと、私が一番イヤなタイプの十年後の私は、ガールスカウトでせっかく学んだ事を、忘れてしまう事です。

十年後の私の二十三歳、今の私の十三歳。どういうふうに変わるかこの十年の間にたくさん冒険をしたいと思えます。

佐 々 木

忍

きつと、どこかの財閥の子息と結婚している……というわけにはいかないだろうけれど、たぶん、ふつうのOLになっているだろう。でも、もしかしたら、エッセイストに、いや、美容師に、でも、やっぱりファッションデザイナーかしら……？いいえきつと「国際線のスチュワーデス」よ！

けれど……もしかしたら……「歌っておどれる、プロレスラー」になっているかも……。などと、とてもおろかな事を考えているけれど「十年後の私」は、どうなっているかわからない。夢も想像もふくらませることはできるけれど、私が予言者でない限り、現実はどうなっているかは、わからない。もしかしたら天国へ行ってしまっているかも……（地獄かしら……）。でも、これは例外として、一番確かなことは、二十三歳になって、年とっていく自分を感じながら、二十三歳なりの楽しい一年を過ごしている、ということ。

小 林 香 代 子

私は、十年後というと、二十三歳になっています。二十三歳だと、もしかして大学に通い、いっしょうけんめい勉強をしているかもしれません。それとも、私は外国に行つたことがまだ一度もないので、いろいろな国を回つてみたいと思ひ、外国に何年間かいるかも知れません。六年生までの私は、英語をがんばって、しゃべってみたいと思ひました。

そして現在中学一年生になって、英語の勉強をしています。でも、なかなか思っていたよりはむずかしいのです。

だけど、十年後には、外国に行つてペラペラとしゃべり、外人の友達がたくさんいるかも知れません。

今からでも、外国との国際関係を深めて行きたいです。

皆 川 恵 子

十年後ということは、私は今十二歳だから二十二歳。私の想像でいけば、ちょうど大学を卒業する年です。リーダーにはならないと思うから、ガールスカウトはもうやめていると思う。中学校一年生の人の中で「誰がリーダーをやっているかなあ。」なんて思つた。

大学を卒業したら、少し、だいたい一年から一年半ぐらい働きたいなあと思っている。職業はまだ決めていない。一年から一年半ぐらい働いたら、どっかの誰かさんと結婚したいと思つている。そして、一年ぐらいいたら赤ちゃん（子供）がほしいなあと勝手な想像をしている。

二十歳をすぎているから、「大人らしい人になっているかなあ。」なんて思つてみたり……。

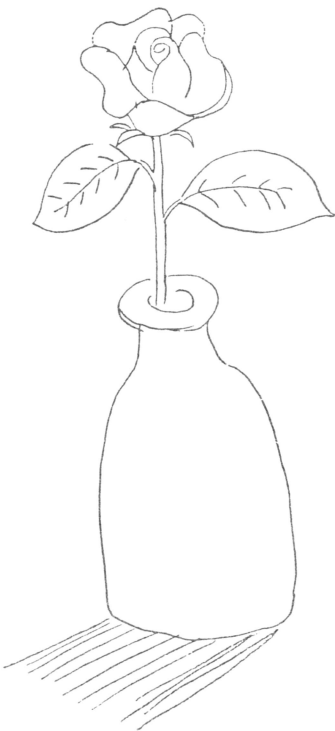
まだ十年たつていないので、わからないからこの想像どおりにいけばいいと思う。もし本当になったら幸せ者。

古 谷 充 代

十年後、どんな世の中になっているのかな？アフリカや中国が先進国になり、アメリカや日本が後進国のまじしい国に……。十年後、私は二十三歳、いつものたのしい生活をおくれるかな。それともお金がたりなくて毎日アルバイトして、ガールなんかやつてるひまがなかったり……。

私の希望としては、いい大学を卒業し給料の高いところに就職して、世界を旅行し、おいしいものを食べる、そんな生活がしたいな？

でも、世界中が平和で、みんな平等な世の中になったらいいな。



私の十年後は、どうなっているだろうか？たぶんリーダーになっ
 ていることと思う。この思いは、ブラウニーのときからず
 っと変わっていない。リーダーとなって、五十周年、六十周年
 となったときに、四十周年のときはこうだった、ああだったと
 伝えていきたいと思う。もしもリーダーになれなかったら、ス
 カウトの奉仕をしてでもがんばりたい。

リーダーとなれるまであと五年。その日まで、今をせいとい
 ばい何事にも努力しよう。そしてみんなに好かれるリーダー、
 頼りになるリーダーと言われるようなリーダーになりたい。そ
 うなるには時間をかけてゆっくと、今まで続いた四十年間の
 ように、一歩一歩前進し十年後までにはそうであってほしい。
 こうして平和に四十周年をむかえられることに心から喜び感謝
 したいと思います。

初 島 美 香

「十年後のあなたは？」と聞かれても、今まではっきりとし
 た返事をしたことがないようです。改めて聞かれてみて、はじ
 めてそこで、（そうだ、私はなにをしているだろう）と考えて
 しまいます。二十三歳なんだというのははっきりしますが、何
 をしているかまでは考えずにそのままです。そのうちに、そん
 な事は忘れ、毎日をなんとなく終わらせてなんとなく体だけが
 成長していつているとかんじます。このままではあつとい
 う間に二十三歳になって「ああこれからどうしよう」では間に
 あわないかもしれません。かといって私にはこれといった夢も

ないのです。

でも、私は高校になったら留学をしたいので、今からがんば
 って英語の勉強をして、その事を役にたたせて、英語の教師や
 通訳などになりたい、という気持ちも心のすみにあるようです。

吉 原 麻 衣 子

十年後の私は二十三歳です。十年たったらきっと DESIGNER
 関係の仕事についていたらいいなっと思っっています。そ
 れで洋服のお店を「MAIKO・YOSHIIHARA」っていうので大
 きく売り出したいと思っっています。十代から二十代後半まで
 の人が「いいなっ」て着れるものがいいです。それで町を歩く人
 が MAIKO・YOSHIIHARA の袋をこわきに抱えて楽しそうに
 歩いている姿を見たいです。

それか、有名人（芸能人とか、スポーツ選手）と、結婚した
 いなっと思っっています。それでしあわせな生活を送りたいと思
 っています。もっといいのは、DESIGNERの仕事をしなが
 ら有名人と結婚することです。そのためにも十年後の私が「いい
 女」といわれたいと思っっています。



シニアリーダー

「十年後のスカウティング」

皆 澤 美 幸

十年後、一九九七年、世界は正に世紀末を迎えている時でありましょう。現在を含めて進行中にある世紀末的現象、価値感の変化の中に来たるべき新時代の、息吹を感じとれるような時のような気がします。

すでに固定観念として植えつけられた価値と共に過渡期を生きぬいていくには、先を見据える目を持つことが必要です。過渡期においてはスカウティングも例外ではなく、時代の波に巻き込まれるような存在となるでしょう。言い換えれば、今迄の四十年間よりもより困難な時がこれからの十年間において経験されると思われます。そういった中でやはりスカウティングも未来を見据え、柔軟で堅実な歩みを進めていくべきであると思えます。

しかしながら、個人の本心としては、時代の波に流されず、何年経ってもスカウティングも霊南坂も変わらずに、続いていくって欲しいと願っているのであります。

杉 本 夏 世

「土曜の午後があぶない」と私は思うのです。リーダーにしろ、スカウトにしろ、危機にさらされてるのです。スカウトは当然ですが、今も十年後も学生です。やれ部活だ、やれ塾だ、受験だと、はては補習授業を学校で行うようななどと、おっしゃる始末。これは絶対に「土曜の午後」が、狙われているのです。リーダーにおいても、学生あり、社会人あり、主婦ありと、顔ぶれも多様化し、一億総大型娯楽時代の今後「土曜の午後」は、ますます魅力的に私達を誘惑してくるのは目に見えているのです。今後の対策を練るうちに、もう一度原点に戻り、スカウト活動を、自分の足元を、見つめ直す機会に巡り会うと考えられます。それが「土曜の午後」を危機から救う道だと……。

「十年後のスカウティングは」と聞かれて、ふとこんなことが頭をよぎりました。



シニア隊スカウト

「十年後の私」

大 川 修

僕にとっての十年後というのは、色々な別れ道があり、そのひとつに「大学の進路」ふたつめには「就職」という大きな物があります。

進路についても、大学の学部も色々あるし授業やクラブ活動もやり始めたりすると、この先、ローバースカウトも続けられるかも分からないのに。もし続けていると、ちょうどドリッターに成らせてもらっているかもしれないのである。

これから先ことは、小学校のころのように十年たったら○×高校や○×大学に行きたいなどと夢だけの世界じゃないので、就職のことでどんなにまよっているかもしれない。

これから先のことなどなにか一つ確実なことではない。二十一世紀ももうすぐという所だろう。これからなにかおこっても不思議なことがない世界だと思ふ。時間、時間を大切にすごして行けば充実した日々を過していける。

加 茂 政 輝

十年後の自分は、どこでなにをしているのか。これは、自分にはまったく見当のつかないことである。あいにく自分には、今の現状を見つめるだけでせいっぱいで、十年後のことなんて考えたことなかなかった。今の状態からして考えると、一流大学に入り、一流企業に入って、美人と結婚して幸せいっぱい暮らしていくというのは無理であろうと思う。やっぱり今やっている音楽というものを十年後にもやっていたいものである。今やっているのはクラシックだけど、十年後はJAZZをやっているかもしれないし、ROCKをやっているかもしれない。しかし、どれもすばらしい音楽である。これは自分の考えだが、音楽とは、神が人間に与えてくれた最高の贈り物ではないかと自分は思うのである。十年後に限らず、これから一生音楽とつき合っていきたいと思う今日このごろである。

城 所 明 利

十年後というのは、我々の知ることの出来ない未知の世界であるが、あえて言うなら、十年後も教会と一緒にいたいものである。

しかし、自然淘汰による世界人口削減の周期が近いと言われているが、小さい頃から既に三つもの教会を巡って来た僕としては、そんなものはおかまいなしにこれからも、新設された教会と共に生き、年をとり、活動を続けて行きたいと思ひます。

僕らの年代はもうすぐ現役引退。しかし、十年後にこの教会と、我々が復活させたB・Sシニアというスカウト団体が、ど

の様に成長しているか、とても楽しみです。

人数こそ少ないが、かたい友情とチームワークの強い今のシニアの精神をこれからも、持ちつづけ、十年と言わず二〜三十年後までも、教会と、友と一緒にいたいと思います。

こうなると

ほんとうにいいなあ十年後

小 林 有 希 男

きつと、こうだぜ、オラよ、こう見えても幸せを求めるたちだからよ、見せましょう。これが私の十年後ピロピロピロリンのパ。

夕ぐれ時、私は仕事を終え家路に急いでいた。もちろん家には愛する妻が夕飯のしたくを整え、私の帰りをまっているのであった。「ピンポーン」私はドアのボタンをおした。ドアが開くと「あなた、お帰りなさい」と甘い声で私を迎えるのであった。少々の疲れなどは、その一言でぶっとんだ。そしてお決まりのこの一言、「あなた、お風呂にする、それとも御飯にする」私はいよいよ「寝る」と言ってしまうのであった。そして、今日の妻は少しニコニコしていた。「あなた、今日病院に行ってきたの」「どうした、どこか体の具合でも悪いのか」と私は言った。妻はポツと赤くなり「おめでたですって」と言った、そこだけ春が来たようだった。いいなあ。

一九九七年の再会に向けて

杉 原 直 明

「四十周年記念誌に十年後の君らの事を書いてくれ。」とリーダーから依頼を受けた時、少なからずショックを受けた。考えて見れば、十年後と言う途方もない未来の事など、漠然として考えた事がなかったからだ。未来と言えばせいぜい一年先。それより先は光の届かない暗闇のようにひっそりとしていて、その静けさを乱そうと考えた事など無かったのである。一九九七年二十七歳、一体自分は何をしているのか。結局出た答えは「漠然とした物」の域を出ることはなかった。髭は濃くなり、これから体験するであろう、多くの苦労によって面構えも変わっているかもしれない。しかし目だけはいつまでも変わらずに、押し寄せる現実の波を見続けていたい。十年後、仲間と再会した時、どんなに容姿に変化があっても、目を見れば互いに確認でき、そして心から再会を喜び合う事ができるように……。



AFTER THE 10 YEARS

山ノ上 善 和

十年後と一言いわれても考えることはむずかしい。ひょっとしたら核戦争があつて、僕等はカゲもカタチもないかもしれない。と、まあ少しオーバーなことを書いてしまいました。が、百パーセントありえないわけでもないわけで、核ミサイルのおかげで地球ですら危ないのである。が、仮に地球は残ったとしても、人類はまず全滅で、また新しい生命が誕生する……という十年という過程では、ありえない話ではありますが、そういうことも大いに考えられるのであります。生き残ったとしても人間社会を、はじめの一步からやり直さなくてはならなくなるか、自由気ままの動物的（人間的の意味に対して）な社会になるか、のどちらかになるのでは……？

と、変な事ばかり書いてきましたが、進学希望大学もロクに決まっていな現時点の僕としては、十年後などどうてい考えつかないのがあります。

シニア隊リーダー

十年後のスカウト活動

隊長

日下部 英 一

十年後の社会状況は、日本の経済状態を抜きに語れないと思う。韓国、台湾の技術向上、貿易輸出で現在外貨を多く持っている国の外貨が減少し始め、日本人が現在円高の影響から、工場を外国で作り生産した状況より一歩進み、日本人そのものが外国へより良い仕事をする為に流出されるようになる。そのため、教育にかける時間が益々増えてくるが、その中の一環として国際交流をもう一度見直す為に、スカウト活動が盛んになる。又は、経済状態がより厳しくなると予想すると、社会のアメリカ化が良くも悪くも進み、治安等について不安を持つようになり、青少年の教育はもう一度受験のみの教育ではなく、家庭生活や団体活動を官製でないと云う意味からも見直される。どうも夢のないことで恐縮ですが、あと少しするとBSの制服が変わるかもしれない。只、云えることは、皆がやっている今の活動の成果が少しでも実って欲しい。

レンジャー・スカウト

「十年後の私」

中 川 未 利

十年後という二十六歳。もしもいい人がいれば結婚して子供の一人もいるところでしよう。けれどそうなっていないも自分の仕事というものを持っていたいと思います。自分が仕事をしてつくったお金で自分の世界を拡げていきたい。外国へ行ったり、良い音楽を聴いたり、良い芝居を観たりと、したいことをできるようなりたいと思います。二十六歳といってもまだ若いのだし、その「若さ」を楽しむ最後の機会のような気がしません。でもそう考えると独身の方が自由の身でめいっぱい楽しめそう？。とにかく私の二十六歳は自分の力でしたいことができると二十六歳であるように努力します。

加 藤 美 和

「十年後の私という題で作文を書いて来て」と言われ、「十年後、二十六歳の私は何をしているのだろうか？結婚してるかな？それとも、キャリアウーマンでがんばっているのかな？」と、色々考えました。しかし、考えきれず友達に「私の十年後ってどうだと思う」と、聞くと「みわは、結婚して、エプロンが似合うおかあさんになって、温かい家庭を作っていると思うよ。」と不思議と同じ事を言われます。しかし、ちよっぴりはずかし

いのですが、その様な母が居る家庭で育った私は、平凡だけどそんな十年後であつたらいいと思っっています。

やはり、そんな先の事わかりません。けれど、これから歩んで行く自分の人生をしっかり見詰め、精一杯生きて行きたいと思っいます。そして、十年後、また友達と再会して、この記念誌を読みながら、語り合える日が来ることを楽しみにしています。

矢 澤 直 子

今、私たちレンジャーは、この四十周年の記念誌の制作のために、霊南坂でスカウト活動が始まった年からの、いろいろな移り変りを調べています。四十年という短い様な気がしますが、その間にも本当にたくさん事が変化してきました。これからの十年も今まで以上に変化が激しいでしょう。そんな中でいたい私は何をしているのか？見当が付きません。十年後は二十八歳ですから、たぶん結婚している(?)でしょう。

けれど、それ以外にも何かをやっている人でありたいと思っっています。今の時点では、その何かはまだ見えてきませんが、自分で自信のもてる様な何かをやり続けていきたいです。(仕事でも、何でもいいのです)

十年前は八歳。精神的にも、この十年間で大きく変化・成長しました。十年後の二十八歳の時には、成長した面もあるようにしたいですが、今の「私らしさ」をそのまま失わず、持ちそなえていきたいです。

斉藤 礼子

十年後の私、がどんなことをしているか、本当に考え込んでしまふようなテーマです。小さい頃から「大人になったら〇〇になりたい。」などともあまり言ったことがなく、何かに書いたりしなければならぬような時は、そのつど思いついたものを書いていたような子供だったので、今となって色々な現実が見えてくると、なおさら簡単には結論がだせません。

ただ一つ、十七歳の今の私が二十七歳の十年後の私へ「こうでありたい。」と望むことはとにかく自分で決めた納得のできることをしてほしいということ。二十七歳だから結婚をして「お母さん」ということもありえるし、これからの何年かの間に、一生続けたいような仕事を見つけて「キャリア・ウーマン」ってこともないわけではないし……。

とりあえず、誰よりもこれからの私が、十年後の私を楽しみにしていきます。

八木 園 恵

私が幼稚園を卒園する時、先生が一人一人に大きくなったら何になりたい？とお聞きになった。みんなパイロットやお姫様、〇〇屋さんと無邪気に答えていたけど私は何故か「お母さん」と答えていた。それから約十年後の今、何になりたい？と聞かれたらハッキリ言って「別に……」と答えてしまうだろう。育ってきた環境とは恐ろしいもので私は普通にしていれば高校までこられるというレベルに乗っていた。だから何事も程々にはやってきましたけど十七の今まで真剣に個性とか将来というものを考

えてなかったように思う。

今、十年後の自分を決める最初の段階にいる。これからの十年間にいろいろな事を吸収し、何か夢中になれるものを見つけ十年後にそれを生かした生活を送っていたら素敵だと思う。もしその何かを見つけれなかったら、きつとそれなりに幸せを感じている「お母さん」になっていることでしょうけど。

大貫 千穂

十年後、私はどういう生活を送っているのでしょうか？十年後といわれてもまだピンときません。その頃、私は二十六歳ですから、確実に社会人となっているわけです。そうなると、どんな職業についているのか、もしかしたら結婚しているかもしれないし……考えれば考えるほど不思議な気持ちになります。

将来、何かの職業についていることだと思いますが、やはりその内容は気になります。希望はたくさんあって、通訳になりたいとも思うし、空港関係の仕事につきたいと思つたこともあります。でも、自分に合った職業を早く見つけたいと今のところ思っています。

十年後が、とても楽しみです。

梅 沢 佳 奈

十年後。今から十年前のことを考えると、すぐ昔のこのように思えます。でも、これからの十年はきつとあつという間に過ぎてしまうでしょう。十六歳から二十六歳までの十年間は、一生の中で一番楽しくて、思い出のたくさん残せる時だと思えます。この十年をむだにすることなくいろんなことを経験したいです。

でも、楽しいことばかりではなくつらいことや悲しいこともあれば、自分の道を自分で決めるといふ恐しく重大なこともあります。この様な人生最大の山場に来たときも自分を見失うことなく乗り越えていきたいです。

そして十年後にはステキな女性になって、私のことを一番と思ってくれているステキな人と幸せに暮していたらいいと思います。

輪 笠 有 子

十年後、私は、宇宙一ステキな人と、宇宙一しあわせな結婚生活をおくっています。

宇宙一ステキな生活とは、夏は二人で、山小屋の番、冬・春は、スキーのコーチと、どっかで聞いたことのあるようなパターンです。

彼は独身の時、数学を教えていたので、スキーをするにも数学的に考えます。私は、唯一、彼のそんなところが、気に入りません。

でも、やっぱり私にとっては、宇宙一ステキな人となるでし

よう。

そして、宇宙一ステキな彼との間に、宇宙一かわいい子供がうまれて、私たちは宇宙一しあわせな家族となるでしょう。

なんて、夢はものすごく大きい私が、どうなってるか、十年後が、たのしみです。

でも、できることなら、ずーっとこのままで、大人にならないというのが、今の一番、正直な気持ちです。

齊 藤 菜 子

十年後の私は一体何をしているのか、どこにいるのか全然想像もつきません。けれど夢はいっぱいあります。

私はいつも夢ばかりが大きいのですがそれが実際に現実にはなってくれないのでしょうか。

十年後、今が十七歳だから二十七歳です。すぐ素敵な人と結婚していると思います。そして自由な生活をしています。

結婚しているながらも、家事やらいろいろ忙しいながらも趣味を持っている、こんな生活をしていると思います。私はまだまだ自分の十年後なんて全然見当もつかないので、夢だけが大きければ、今の毎日の生活をきちんとして、将来いい女の子になれるようにしたいと思っています。

今現在の心境、今十七歳のこの生活がとても快地よいので早く大人になりたいとは思わないです。

相 胡 子

十年後と言われてもあまり「ピン」とはきませんが、私も二十六歳、人並に『結婚』『子育て』と思います。大学で専門学を身につけ、社会人として働ければとも考えています。高校で勉強している中の、特に自分自身で興味を持っているものを追求し、それを研究課題とし、社会の一員として活躍してみたいとも思います。「この事を実現できればいいな」と思います。もし、キャリアウーマン、とまではいかなくとも、職業を持ち、結婚ができたならベストだと思います。

しかし、職業と結婚の両立は、難しいと思いますが、仕事を持つことを理解してくれる男性がいてくれるといいと思います。仕事と結婚を両立させ、私を必要とされる仕事に就いて、一生のものになりたいと思っています。

矢 沢 典 子

この作文を書くので思い出したことが、ひとつあります。

「私は、毛糸屋さんになりたいです。」ちょうど今から十年前、幼稚園での卒園文集の際に「大きくなったら：」のコーナーで私が書いた言葉です。どうして毛糸屋さんなのか、よく覚えていません。

今から十年後といえは二十六歳。なかなか予想が出来ません。二十六歳の時にやっていたことが三つあります。まず、保母です。子供がとにかく好きなので、それにこの仕事は、小学生の頃からの夢ですから……。次は、妻+母親です。この頃までに一人の子供をもっていたいですネ。

そして、リーダーになってみたいです。日本のガールスカウトのために、霊南坂のスカウトのために役立っリーダーをし、また五十周年の記念誌に、載りたいと思っています。

山 田 真 伊 子

十年後という、もう二十七歳になっています。たぶん、そろそろ結婚しなくちゃなと思っています。頃だと思っています。

その頃には、きつとどこかの会社に、勤めていて、いっしょうけんめい働いていて、「学生の頃に、もっと勉強していればよかった。ちゃんと親の言う事を聞いていればよかった。」と思っていると思います。今将来少しでもそう思う事がないように、できるかぎり、勉強して、親の言う事を、聞こうと思います。そして、もっと自分に、誇りをもって生きていくようにしたいと思っています。

そして、もし子供が生まれたら、やっぱり自分に誇りを持って生きていくような人に、育てたいと思っています。



瀬崎 真生子

十年後といえ、もう二十七歳になり、三十代になるまであと三年しかない「おばさん」になりつつある年である。その頃私は何をしているのでしょうか？小さかった時は、総理大臣になりたかったし、天皇陛下のおよめさんにもなりたかったし、ついこの間までは教師になりたかったし……。今は、結婚して愛する旦那な様やかわいい子供たちと平穏な毎日を過ごすのもいいなあと思う。

総理大臣や天皇陛下のおよめさんになることはもちろんむりだけれども、レンジャーのみんなに言わせれば私が一番早く結婚しそうだということなので、なんとなく今の夢はかないそうな気がする。それまでに、すてきな女性になり、すてきな旦那様をみつきたいと思う。

十年後に私の子供も毎週土曜日、霊南坂教会に通っているかしら？。

※レンジャーにはもう一名、丸山美奈子さんというスカウトがいますが、現在大学受験のため、しばらく活動から離れています。



「十年後のスカウティング」

豊村裕子

十年前、私はシニアスカウトのリーダーをしていました。あの赤レンガの教会の書記室で、高校受験のために勉強に追われるスカウトや、クラブ活動などに精を出すスカウト達にとって魅力的な集会をと考えていました。十年たった今、スカウティングの本質は変わらないのですが、物が豊富になって楽になったことが多々あると思います。例えば、冬はヒーターの入る部屋があたりまえになって、以前の様に寒いから外で身体を動かそうという事が減りました。十年後には更に進んで、「あたりまえ」の生活習慣が多くなると思いますから、よほどの工夫がないかぎりスカウティングの魅力を引き出すことがむずかしくなるのではないのでしょうか。私はやはりスカウティングとは、本来自然に帰るものだと思いますし、これからもそうある様努めたいと思います。

世界の交通もここ十年でめざましい発展を遂げ、東京→ニューヨーク間を飛行機で二時間、日本国中リニアモーターカーが主要都市を走り、世界中の国々が身近かに感じられる時代がやってきた。

某ティールームの一角では、ここ十年変わらない、リーダー会と称する会合が行われている。「今年のG・Sのキャンプはどうする?」「海外でやってみたいと思わない?」「アワ・シヤレーぐらい行きたいけど予算がきついからね。ハワイあたりかしらね。」「ハワイは家族旅行で行けばいいんじゃない。海があって、あまり開発されてない所がいいわね……」というようにうまくいくかどうかかわからないが、四団のスカウティングもどんどん世界へむけて活動を行ない、子供達は、より国際的になっていくだろう。もしこんな夢が本当に実現されれば、私はまだリーダーとして頑張っているに違いない。



February 12, 1987

Dear Mr. Naito:

I'm happy to send my congratulations and best wishes on the 40th Birthday of Tokyo Troop #4, Boy Scouts of Japan, which had its first meeting on a cool Saturday afternoon, February 22, 1947, at Reinanzaka Church, Tokyo.

One evening a few weeks earlier, George Imai and I were discussing boy hold experiences. We discovered we had both been a member of Troop 36 - George in Honolulu and I in Centreville. After discussions with Viscount Michiharu Mishima and Dr. Michio Kozaki, we had our first meeting.

The date was easy for me to remember, as George Washington, first American president, was born on Feb. 22, 1732. Later, I learned that Lord Robert Baden-Powell, who started the Boy Scout movement in England in 1908, was born on Feb. 22, 1857.

I don't remember when the Girl Scouts had their first meeting at Reinanzaka Church, but believe it was one or two years later.

Boy Scout Troop #4 was short of supplies (handbooks, other literature, uniforms) everything except enthusiasm. The local BSA Council (Black Warrior Council, Tuscaloosa, Alabama), its Executive, Mr. Edgar Christopher, office Secretary, Miss Dorothy Maxwell, and the Scoutmaster of Centreville Troop #36, generously furnished materials to both Troop #4 and the small National Headquarters Office of the BSJ.

Troop #4 grew by using Scout ideas and traditions of Japan, England and America. About three or four months after Troop #4 started it participated in a rally with five other Tokyo troops - there were about 100-150 Scouts in Tokyo then (and perhaps some in other cities). When I left in December 1952, I believe the total national membership was about 40,000.

At this rally (or perhaps another held somewhat later), the guests of honor were Crown Prince Akihito (who was then 14, the same age as some of the Scouts) and the noted Roman Catholic priest, Father Edward J. Flanagan, the founder of Boys Town (a home for orphan and other abandoned boys) near Omaha, Nebraska.

Two songs which George Imai taught the first members of Troop #4- "Trail the Eagle" and "Keep Climbing" could well serve as slogans for the Troop and its past, present and future members and leaders.

The Scout Motto, Oath and Law embody high ideals, ones that naturally appeal to boys, stressing physical, mental, social and spiritual development. Scouting is an important character building activity - but that is not the reason boys become Scouts - they enjoy the program. That must always be true.

I am particularly happy that your troop is sponsored by Reinanzaka Church - (1) churches are among the most suitable sponsors; and (2) Scouting can be an important part in the whole program of the church, and can strengthen other parts of the church's program.

I appeal to former members of Troop #4 who may now be members of churches which do not sponsor troops - get your church to start Boy Scout and Girl Scout troops and dens - or take over the sponsorship of existing troops which may need help.

Troop #4 started during a time when conditions in Tokyo and throughout Japan were difficult, but it kept going, and I am sure that the Boy Scouts, Girl Scouts, Cubs and Brownies of Reinanzaka Church will reach even greater heights in years to come.

From the Beginning, Troop #4 exhibited the qualities of a passion for excellence, self-discipline, loyalty to country and family, and the ability to work together toward a common goal - qualities which are now recognized throughout the world as national characteristics of Japan and its people.

I extend my best wishes to all of you - leaders and members - your predecessors and your successors. "Keep Climbing!"

I regard my work with Troop #4 and the Boy Scout movement of Japan as among the more significant and happy events of my life.

I wish I could be present for your 40th Anniversary celebration; I will be with you in spirit.

God be with you, and you be with God.

Sincerely yours,


Martin Williams

この手紙は40周年のためにウィリアムズ氏からカブの内藤リーダー宛送られてきたものをそのままタイプして掲載しました。署名は自筆です。

「ボーイスカウト・

ガールスカウト諸君へ」

マーチン B ウィリアムス

一九四七年二月二十二日の寒い土曜日の午後、靈南坂教会で始めて集会をもった第四団のボーイスカウトが、四十回目の誕生日をむかえられることに、心から「おめでとう」と申し上げます。

最初の集会より数週間前のある夜中、私と今井譲二さんと少年時代のことを話していました。その時、初めて今井氏はホルル市（ハワイ）のボーイスカウト三十六団の隊員、私はセンタービル市（アメリカ）のボーイスカウト三十六団の隊員、両方共に三十六団の隊員であったことを知りました。そして三島子爵と靈南坂教会の小崎道雄牧師にボーイスカウト活動のことを話し理解を得て、私達は最初の集会をもちました。

集会の月日は、私にとり簡単に思い出すことができます。と言うのはアメリカの大統領ジョージ・ワシントンの誕生日が一七三二年二月二十二日であり、一九〇八年イギリスでボーイスカウト活動を始めたロバート・ベードン・パウエル卿が一八五七年二月二十二日に生まれた日と同じだからです。

ガールスカウトは、いつ靈南坂教会で最初の集会をしたか思

い出せないけれど、確か、ボーイスカウトよりも一、二年後のことだったと思います。

その頃の四団のボーイスカウトでは、熱心なやる気以外のあらゆる物（スカウトブック、その他の色々な資料、制服など）が不足していました。その為アメリカ、アラバマ州、ツスカローザのボーイスカウト、ブラックウォーリア地区連盟の役員であるエドガー・クリストファーさんと、その事務員、ドロシー・マックスウェル嬢とセンタービル三十六団の隊長などから、沢山の資料・制服など、色々な物をこの四団と、まだ小規模だったボーイスカウト日本連盟本部へ送ってくれました。

四団は、日本、アメリカ、イギリスの考え方や伝統を取り入れ成長しました。四団が発団してから三、四カ月後に、ラリー（大会）が開催され、四団の他に五隊が参加しました。（当時、東京に五隊、横浜に一隊あっただけ）スカウト数はおよそ全部で百、百五十名でした。私が一九五二年十二月に日本を離れたときの、日本のボーイスカウト隊員数は、四万人位になっていたと思います。そのラリーにスカウトと同じ年頃（十四歳）の明仁皇太子殿下とネブラスカ州オハマ近郊にボイス・ハウス（みなし子やすて子達の家）を創立したローマ・カンリック教会のエドワード・J・フラナガン神父が来賓として来ていました。

今井譲二さんが最初のスカウトに教えた二つのうた

“Trial the Eagle”（イーグル・スカウトに続けー）現日本では富士スカウトに続けー）と、“Keep climbing”

（登り続けろ）は団と過去、現在、未来のスカウト、リーダー

達のためにスローガンとして、とても良い指針となったことでしょう。

スカウトのモットー、誓い、掟（おきて）は、スカウト達の心に自然に受け入れられるような高い想像力、強い体、精神、社交性、宗教心を具体的に表すものです。スカウティングは人として重要な人格を築き上げる活動ですが、これらのことは少年たちがスカウトになる理由ではありません。彼らはプログラムを楽しむのです。

私は靈南坂教会が四団の育成をしていることを特にうれしく思っています。と言うのは、第一に色々な育成団体の中で教会が最もスカウティングにふさわしいと思うこと。第二に、スカウティング活動の重要な部分を教会の行事の中でこなすことができ、また教会の行事でスカウティングのプログラムを強化できること。

四団の元メンバーでスカウトを持たない教会の会員になられている方にお願ひしたいことがあります。どうぞボーイスカウトとガールスカウトをあなたの教会ではじめて下さい。そして教会も盛りあげ、助けを必要としている団を支えて下さい。

四団は、東京ばかりでなく日本国中の環境が悪い時期（終戦直後）にスタートしました。しかしスカウティングは続けていかれました。そして靈南坂教会のボーイスカウト、ガールスカウト、カブスカウト、ブラウニー達は年々つばになっていかれていると思います。

四団は発団した時から、自己鍛練がいき、国と家庭に忠実で、同じ目的に向って一致協力して働ける能力などその優秀な気質を示してきました。四団の気質、それは今では日本の国民性と

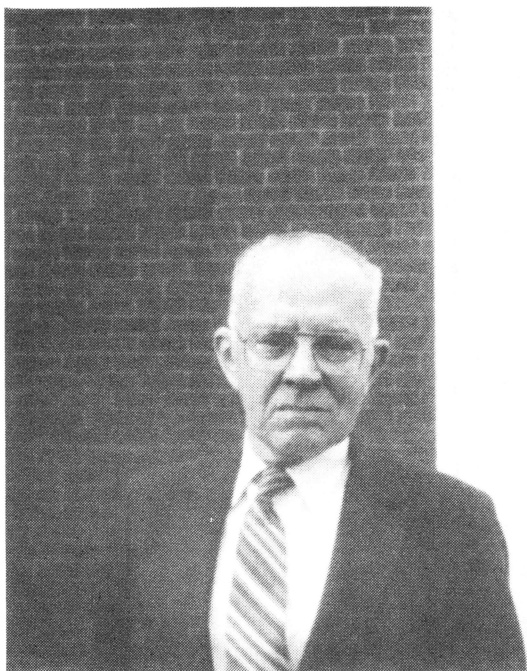
して全世界に認められていることであります。

四団のリーダーとスカウト、そして先任者と後任者のすべての方々に心からお祝いを申し上げると共に、“KEEP CLIMBING”（登り続けろ）という言葉を贈ります。

私は四団で働き、日本でボーイスカウト活動ができたことを生涯で最も意味深い、幸福な出来事と思っています。

四十周年を皆と一緒にお祝できたなら、どんなにすばらしいでしょう。私はいつもあなたの方の心の中におります。

神があなた方と共にありますように。そしてあなた方が神と共にありますように。



於、アラバム州センタービル・プレスバイテリアン教会前

「発隊当時のこと」

今 田 富士雄

我が団四十年の歩みは、戦後のスカウティングの歩みと共に進んできた。

終戦から一年半、GHQの特別許可を得て東京に五、横浜に一個隊が誕生、五月十七日にはフラナガン神父、皇太子殿下をお迎えしての最初のラリーが開かれた。我が隊は、火起しと二十種結索の出し物、その為に結索全米チャンピオンからの直接指導があり、一分以内でやれとの今井隊長の指示に、我々は大いにハッスル、荒垣君が一位、四隊は常に新しい事にチャレンジする精神を養った。

翌年、貴重なお米を少しずつ貯めての広島遠征、巖島でのキャンプ、昼間の疲れでぐっすり寝入っていると『非常呼集』隊長から炊事用の水の準備が無いと大目玉。この時以来『そなえよつねに』は体質化し、受け継がれていった。

三年目で国際復帰し、初の全国大会が開かれ、皇居前の芝生にテント村が誕生した。

翌年は新宿御苑での全国大会、日曜には、小崎道雄先生の司式で野外礼拝が持たれた。

大会終了後、自発的に最後まで残って清掃奉仕を行った為、

新春バレード時に、東京連盟優秀隊表彰を受ける結果となった。四十年前四隊発足にご尽力下さった、小崎先生、今井隊長、又日本連盟への功績で最高功労きじ章第一号を受けられたウイリアムスさんに、心よりありがたうを申し上げたい。

今田富士雄

ボーイ・スカウト東京第四団：発足時のスカウト。
日本連盟認定第一号の上級班長。東連コミッション
ー、理事等を経て日連中央審議会議員を務め、現在
日連副総コミッションナー。長年に亘り四団のBS、
SS、ローバー隊々長も務められた。

「エラー」をしたからこそ

飯 田 貞 雄

それは中三のときだった。その日も、放課後、いつものように常連たちと学校（現都立青山高校）の隣りにある神宮外苑の一角で、草野球を楽しんでいた。何回目だったか、ライトの守りについてとたん、大当りのライナーが飛び込んできた。思い切りグローブをのびしたが見事にエラー。向きを変え、夢中で球を追う。球は何と車道を横切り、反対側の広場まで飛んでいき、大きな人だかりの手前でようやく止まった。

打球して、何とはなしにその人だかりをのぞいてみると、まず、学習院の制服の皇太子殿下のお姿が目に入った。まわりで

は、それぞれ首に三角巾のようなものを巻きつけた、二百名ほどの少年たちが、何やら楽しそうにやっている。アメリカ人らしい少年も一緒だ。ふと、ひとときわ目立つ配色の青・黄二色の三角巾を巻いている一群を見た。驚いたことにその中には、小学校からの仲良しでクラスメイトでもある志水君がいるではないか。「一体、あいつは何をやっているのだ？、明日学校で会ったら正体をつかんでやれ」と心にきめてその場を離れ、守備位置へと急いだ。

この日、日本のボーイスカウト再発足を記念して、初のラリーとキャンプファイヤーが催されていたのであった。昭和二二年五月一七日の午後のことである。

ちなみに、当日の模様については、「日本ボーイスカウト運動史」(一九七三年刊)に「特に、第三隊のターザンと、第四隊の火起し競争に拍手がわいた」とあり、また、わが四隊によるなわ結びゲームを、殿下がご覧になられている写真が記録として残されている。

翌日、「ボーイスカウトに入れば、ジープに乗れるぞ」という彼のひとことが私の心を動かした。次の土曜日から野球はやめて、靈南坂教会へ通うようになったことはいうまでもない。

飯田 貞男

ボーイスカウト東京第四団：発足時のスカウト

昭和三十年代四団のボーイスカウト隊長として活躍。

現在、日本連盟中央審議会議員、日本連盟進歩委員

長、世界スカウト機構アジア・太平洋地域スカウト

委員として活躍中。

「カブ隊と私」

杉原 正

昭和二十九年にカブ隊が発足してから今年で三十三年になり、この間、発足からの十数年、また昨年カブ隊長を退任するまでの間の数年間、合わせてカブとの関わりは二十年を越すことになりました。私のスカウト活動の中にあつてのカブスカウト活動の比重は非常に大きな割合を占めています。

初代志水隊長が、北海道に就職された後、隊長を引受けて一杯頑張っていました。が、大学卒業の時期には、カブの活動が、他のスカウト活動(ボーイ、シニア)に比べて魅力が少なく、と考えて指導者を辞める決心をしていたとき、勧められて指導者訓練の場であつたギルウェル実修所(現ウッドパッジ実修所)に参加しました。そのとき、カブスカウト活動の原点であるウルフ・カブの活動(キップリングの著書・ジャングルブックを素材とした)に立合い、スカウト活動の奥行きを深さを知り、指導者として奉仕を続ける決断をすることになりました。もし、そのときウルフ・カブの活動に接していなければ、現在まで指導者が続けていなかったでしょう。団内での限られた活動や人との立合いだけであつたらスカウト活動をもっと広い視野からとらえることなく、またスカウト活動の原点も見失っていたかもしれません。ルック・ワイド、そして多くの人との出会いを

通じてスカウト活動が支えられているのではないのでしょうか。

正しい道を選び、真直ぐにすすみなさい B・P

杉原 正

東京連盟ビーバー特別委員長

日本連盟カブスカウト特別委員長

〃 中央審議会議員

〃 トレーニングチームディレクター

港一団団委員

「形」と心

柳 健 一

先年、旧会堂のお別式に出席のため、六本木から溜池に向って取り壊しの進んだ谷町の附近に来た時、フト視線を上げると、灰色の崖の上に、西日に輝く旧会堂の全容が見えました。それはこの教会が建てられた当時、この様であったと想像される、素晴らしい姿でした。日頃、周辺に家屋がたて込んでいて、こんなアングルから、その全容を見るチャンスなど無かっただけに、何かとても新鮮な感動が在りました。一週間後、再び同じ所に来ましたが、すでに高いクレインの林立する工事現場に変わってありました。

この事があつた後、約一年半後に商用で、全日空ホテルに行きました。サントリーホールの上で「どうもこの辺りがそうら

しい」としか解らない程、地形も大巾に変えられていましたが、奥村さんの家と並んで、レンガタイルのシンプルな新会堂に接しました。旧会堂の取り壊しに際し、無念の気持、少年期へのノスタルジックな気持、古い物を大切にしたい気持……。それ等を思う胸中と反対に教会の使命を考えると、それ等にこだわることのナンセンスさを思う頭の中とが、私の体内でショートを起していましたのが、ウソの様に「ホッ」とした気持が新会堂に現実に向き会ってみると感じました。

現在の日本を象徴する様な都市開発のプロジェクトの中に、霊南坂教会が組み込まれる事を否定し、自主独立を守った事は後世への大切な配慮であったと改めて思いました。

思わず新会堂に入り、事務所をのぞいたら飯みどり先生が居られてお変わりなくニコニコと応接して頂きました。下に階段を下りると相変わらず雑然としたスカウトルームがありました。各室の戸を開けて中を見ながら自問自答「何か変わりましたか？」「何も変わってませんネ」「でも変わるんでしょうネ」「君もその一人なんだよ」「そうでした。そうでした。」

柳 健 一

シニアスカウト時代、第十回世界ジャンボリー参加。
ボーイスカウト四団の六代隊長。

「今だから言えるあの時のこと」

関 口 敦 夫

制服を脱いでもう二十年が過ぎてしまいました。でも卒業をしたのだと言う気持ちがありません。自分でもどういう訳だかわからないのですが、現在の仕事も家庭もスカウトイングだという気持ちが、年をかさねて行くたびに強くなるのはどういふ事でしょう。学校は卒業すると、「あー終った！新しく出発だ！」と思えるのですが、制服を着て飛び回っていた時の自分と現在が、一本の線の延長上にある様です。それだけ私にとって良きリーダーと良き先輩、そして良き仲間にも恵まれたと本当に感謝しております。それに日曜学校、礼拝、先生方のお話し、聖書、すべてが今の自分の精神的なささえになっている事は確かです。でも、自分がリーダーとして後輩の指導に当たっている時に、自分が受けたものを返していたかと思うと恥しい限りです。あったのは理想論と若さだけ、あとはひまぐらいなものでした。現在二児の父親になり、本当に子供を育てる難しさ、でもひよっとしたら子供から父親にならしてもらっているのではないか？親の楽しみは子供達からもらっているのではないかと見えるのです。自分の一生を変える程のスカウト経験は正に他に変え難いものです。東京第四団として出発して四十年その内何年間を

過したことは私にとって大変幸せでした。
これからも増々の御発展を心からお祈りしております。

関口 敦夫

四団ボーイ、シニアスカウトとして活躍。
ボーイスカウト四団の七代隊長。



「創立四十年来に寄せて」

白井 愛

創立四十周年と伺い、今更の様に感慨深く思われますね。

ある日小崎朝子さんがみえ（その頃私どもは麻布今井町……現在六本木四丁目……に住んでいました）ガールスカウトをやりたいから手伝ってほしいとのこと、私は何もわからないけれど、「私たちで出来る事がありましたら」と創立当時のお手伝いをさせていただきました。

丁度末娘の喜久子が中学生になったばかりで、仲間入りさせていただく事になりました。みんなはじめてなので何もわからず、朝子さんにはさぞご迷惑をかけた事でしょうけれど、みんなとても楽しそうにやっていた様です。

丁度夏休みになる前でした。戦後間もない頃でしたので、制服も何もきまっておらず、みんな簡単なブラウスとスカートだったと思います。旧会堂の階下の部室で鏡をのぞき乍ら、すてきな制服作りを楽しんでいた姿を思い出します。これは或いはキャンプ用のものだったかも知れません。

当初人数は未だ小人数でしたけれど、これから自分たちでやっていくと云う心がまえで、楽しさも又大きかった事と思えます。

物のない時代に、日々の生活の中からいろんな物を創り出し

ていく喜び、今日のようなすべての物の豊かな時代には味わえないとてもいい経験だったと思いますね。

どうぞ皆さん、ひとりひとりと与えられた賜物を生かして、ますますすばらしい四団になります様に。

おめでとうございます。

白井 愛

ガールスカウト発足当時からの大黒柱。団委員長を務められた後、顧問として御奉仕頂いています。根本喜久子リーダーの御母様。

「ガールスカウト東京第四団 創立四十周年によせて」

芹野朝子

ガールスカウト東京第四団が、四十周年をむかえられることを、心から嬉しくお祝い申しあげます。この長い四十年の間、社会情勢の変化がいろいろあった中を、歴代のリーダー、スカウト、及び団委員の熱意と努力が、神の祝福をうけて今日あることは、感激の一言につきます。又霊南坂教会が、このスカウト活動に、有形無形の貢献をされたことを心から感謝し、今後この地盤の上に立って、活動を続けられるように願っています。

さて三十周年の記念誌に、創立当時の思い出を書かせて頂きましたが、あれからもう十年もたったことになり、再び四十年

前の事をいろいろ思い出し乍ら、感慨にふけております。昭和二十一年といえば、日本は敗戦の復興が徐々になされつつあった全く暗い時代で、とてもあの当時の状態を若い方達に理解して頂くのは、困難なことだと思います。日本では戦争中、勿論ガールスカウト運動は中止されていました。そして十年の空白の後昭和二十二年に終戦後の殺伐とした社会情勢のなかで、青少年の健全な育成の運動として、ガールスカウト日本連盟が再建され、活動が開始されました。東京第一団から三団までは、戦前この運動をしていらした方達の関係の団で、私達の第四団は、戦後始めて新しくスカウト運動に参加したわけです。私は二十二年から二十六年まで、リーダーをいたしました。アメリカ駐留軍の仕事をしていらしたウイリアム氏の紹介で、自国でガールスカウトのリーダーの経験のあるコーキンス夫人がこれ、始めはアメリカのスカウトの手引によって「やくそく」も「おきて」も英語で暗誦したりしながら、いろいろ指導して下さいました。メンバーは、チャーチスカウトであるので、当時の教会学校に熱心に来ている人達を中心に班をつくりました。一方日本連盟がミス・トウイによる指導者講習会を開催され、私も講習生として参加し、勉強しながら第四回の集会を続けました。

昭和二十五年、二十六年と私は日本連盟の役員として、プログラム委員会の責任を持たされ、ブラウンニーのためのハンドブック作りなどの仕事をして、かけ出しのリーダーとして一生懸命頑張りました。

第四回は毎週土曜のミーティングを、前の教会堂の踏下講堂

で行い、道しるべ、縄結び、救急法などを学んだり、始めてのネッカチーフは、自分達の手で布をたち、淡い緑と濃い緑にそめてつくったものです。フォークダンスを楽しくおどったり、ゲームをしたこと、一緒に大きな声で合唱した事など、なつかしく思い出されます。始めてのキャンプは、茅ヶ崎の柳島海岸の、小崎の家を宿舎に行いました。海に泳ぎに行って高波が来て恐かったことは今でも覚えています。私は二十五年に結婚し、それから約一年リーダーを続けましたが、幸い良い後継者に恵まれ、直接の活動からは退きました。

これからも、スカウトスピリットを持った人達が後につぎ、よい伝統をいかしてスカウト活動を行って頂き度い、と心から希っています。

芹野 朝子（旧小崎）

GS初代リーダー。小崎道雄前主任牧師の次女。
現教会主事の芹野氏のお母様。現在、兵庫県在住。



「のびちやったキッコさんより」

根 本 喜 久 子

四十周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。私は、四団発団の日より少しおくれて、昭和二十三年十二月、クリスマス集会の時に入団式をしていただきました。以来、お休みも多かったのですが、スカウトの道を歩いてまいりました。たゞ今は、千葉県支部の四十五団で、ジュニア部門のリーダーをやって十一年が過ぎたところです。

私が、四団のスカウトだった頃、リーダーだった頃、そして現在迄変らないのは、自慢することではないのですが、キャンプに行くに必ず、のびてしまうことです。(これは有名)。それでも、リーダーを続けて来たことは、どれだけまわりから助けられ、おだてられ、オンブにダッコで、面倒をみていただいたかしのれないという事です。本当に、先輩諸姉、後輩諸姉、皆々様に御礼申し上げる次第です。

ですから、その昔、キャンプファイアで歌われた「かえ歌」が本当になつかしく、今でもニヤニヤと、歌ってみるのです。ちなみにその歌詞を、私の分だけ紹介してみます。

「張り切りすぎて のびちやったキッコさん

タオルを頭に グーグーグーグー

目がさめりゃ はんごう一杯ペロリ

目がさめりゃ はんごう一杯ペロリ」

これは、ガールスカウト歌集4の34ページ「ホルディア」のメロディーで、うたわれたものです。全く、駄目スカウトの見本のようにしょう？そして、駄目リーダーへと育ってしまったわけです。駄目リーダーでも、きちんと続けていけば、『パチパチ』と拍手なのですが、「やれ、結婚した。」「それ、子供が生まれた。」「親が病気だ。」何だかんだと、結局何も無いリーダーで、たまに張り切ると、前述のように、のびてしまふというわけでおほずかしい限りです。「では、あまり多くの『めいわく』をかけないよう、やめてしまおうか？」ということとは、一度も考えないのです。やめる勇気もないのか？あるいはそうかもしれません。

とにかく、今春レンジャーへフライアップする娘と共に、ブルーの制服を着て、又スカウトの道を歩み続けようとしている現況です。今夏もどこかで、「のびちやったキッコさん」とうたわれるかもしれません。

根本喜久子(旧白井)

ブラウニー初代リーダー。一九六二年に発足したレンジャー(大学生スカウト)の初代リーダー。現在、千葉第四十五団のジュニアリーダー。

「行きそこなつたキャンプ」

河 合 潤 子

ガールスカウトに入団する為、母に連れられて初めて霊南坂教会を訪れたのは、確か小学校四年生の時だったと記憶している。坂の上に聳え立つ美しい塔のある練瓦造りの教会は、古くて、ほんの少し陰気な感じがしたが、幼稚園の大きなドアを開けて、私達を迎えて下さったリーダーの朝子先生の笑顔は、そんなあたりの雰囲気消しとばすように明るく、暖かかった。

丁度、夏休みに入る頃で、これから茅ヶ崎へ二、三日泊まりのキャンプを計画しているので、貴女も一緒にいらっしやいと誘っていたのだが、初めて会う方々と、泊まりがけで出かける勇気はなく、朝子先生の後ろにいらっしやる皆さんも再三勧めて下さったのに、私はお断りしてしまった。夏が終わり、不安と期待のこもった気持ちで出かけたミーティングで、皆さんは楽しかったキャンプの話に興奮気味だった。そして、驚いたこととに、泊まりがけのキャンプはその夏が初めてだということだった。「あゝ、それなら私も勇気を出して、参加すればよかった。」心の中で後悔した。

それ以後、私も数多くの楽しいキャンプ生活を経験したが、行きそこなつた茅ヶ崎のキャンプの情景は、私の頭の中で勝手にふくれ上り、きらきらと眩しく光る夏の海と戯れる若い人達

の喚声が耳に響いた。夏、行きそこなつたキャンプの思い出が一番鮮やかに甦る。

河合 潤子（旧萬井）

上級スカウト（現レンジャー）の初代リーダー。

一九五五年に日本で初めてアワジャラーでのジュリ

エットロウセクションに参加。

「四十周年によせて」

内 藤 知 恵 子

「キャプテンって苦しくて大変なんだね」と初めてボーイのキャンプを経験した長男に言われ、二十数年前の自分の事が思い出されました。真っ暗になっても夕食の出来ない心細さ、暑くて暑くて動きたくないのに水くみもしなくてはならない、クラフトも作らなくてはならないつらさ、点検でのリーダーの批評のこわさ、など苦しい事ばかり。ところがキャンプを一度経験するとどういうわけかやみつきになり、団キャンプ、支部キャンプ、戸隠のキャンプへと数を重ねて、しまいはリーダーに。寝坊して起床時間に遅れスカウトに馬鹿にされたり、冷たいジュースを飲もうと、こっそり買っておなかに隠し持ってきたら、冷めたくなくなっておなかをこわしてしまった事など失敗は数多く、何とたよりないリーダーだったかと、今でも恥づかしい次第です。でも苦しいキャンプを何度も通り越し、いろいろ

ろな経験をした結果、十数年間のスカウト活動をして本当に良かったと今だから言えると思います。三人の子供達にも、多少困難な事があっても出来る限りスカウト活動を続けて、良い経験をし良い思い出を作っていくってほしいと願っています。

内藤知恵子（旧針替）

GS・A（現ジュニア）のリーダー。現カブ隊々長の奥様。リーダーを離れられてからも、様々な立場でスカウト運動に御奉仕頂いています。

「キャンプは楽し」

児 崎 桃 子

ガールスカウト東京第四団・ボーイスカウト港一団の四十年、本当におめでとうございます。この四十年は多くの方々のお奉仕と努力の結晶です。私も、輝かしい靈南坂教会ガールスカウトの歴史に参加させていただけたことを、心からうれしく誇りに思います。

思えば二十五年前、ブラウニーの「ふたば」になり、自分の体より大きなリュックを背負い、頭におできを作って参加したのが初めてのキャンプでした。ジュニアになって、テントでのキャンプ生活を経験した時は、水汲みばかりさせられて家に帰りたくなりました。キャンプの仕事の中で、私が特に情熱を燃やしたのは「かまど」でした。雨の翌日にどの班よりも早く火

が付いて、一番にボナパティが歌えた時などは得意顔でした。だから、シニアになって戸隠の全国キャンプに参加しても、「東京四団のスカウトは優秀である」という先輩達の評判を傷付けずに済みました。レンジャーになると知恵が付いて、「明日あたり非常呼集がありそうだから服を着て寝よう。」などと言いながら、移動キャンプや雪上キャンプを楽しみました。これからも靈南坂スカウトがいつまでも存続し、私達が経験させてもらったような、周到な冒険心を学んだスカウトが、増々多く巣立って行くことを、心から祈っております。

児崎 桃子（旧中村）

シニア・レンジャーのリーダー。「ももこリーダー」の愛称で親しまれ、その強力な個性には今だに右に出る人はいないほど。言語学の講師として活躍中。

「はじめてのキャンプ」

坂 田 晴 子

まだレンジャーなどという横文字の名前でなかったあの頃、合同キャンプで上級スカウトのお姉さん達と一諸に山中湖でキャンプをした。記憶が定かではないが、あれは多分四団がモデル団として小学校四年生からガールスカウトAになった時で、私にとっては初めての野外キャンプだったと思う。上級スカウ

トのサイトに見学に行くと、立ちかまどやロープでできた橋の
ようなもの e t c ができていて、それを見た時とても感激した
のを覚えている。キャンプファイヤーも上級の人たちの「ゴー
ルデンハーフ」やCM特集など、そのアイデアたるや、これま
た感激。お化け大会も「こんにやく」を使ったり、巧みに扱っ
た懐中電燈。これはあまりの怖さに絶句。私たちは？と言えば、
食器洗いが間にあわず、日が落ちてから懐中電燈をつけてヌル
ヌルの食器を洗ったり、一番に火を起こして朝食を作る為に起
床前から着がえて寝袋を片づけていたりしていた。アタフタと
しながらも、あれはきつと自分達のキャンプと上級スカウトの
お手本とをダブルで楽しんでたんだと思う。

又久し振りにキャンプ……行きたいなあ。

坂田 晴子（旧秋永）

ジュニアリーダー。お菓子作りの名人で、キャン
プでケーキを作らせてくれたこともありました。現
在母校の東京製菓学校で活躍中。





四 団 B S ・ G S 年 表

創立40周年を記念して、1947年の発団から今日までの各団・各隊行事と、その時代の世の中のもようを、年表にまとめてみました。少し長くなりましたが、40年がどのような歩みであったか、御理解頂けたら幸いです。

CS - カブ・スカウト Br. - ブラウニー GS - ガールスカウト
 BS - ボーイ・スカウト Jr. - ジュニア 上級 - 上級スカウト
 SS - シニア・スカウト Sr. - シニア
 ローパー - ローパースカウト Rr. - レンジャー

年 月 日	隊・部門	行 事	社 会 情 勢
1947. 2. 22	BS	東京第4隊発足	“サザエさん”登場(福岡夕刊フクニチ)1946
5. 17	BS	第1回ラリー(神宮外苑)	山ノ手線初乗り50銭
6. 11	GS	第1回集会(リーダー・小崎朝子)	喫茶店復活(コーヒー5円)
1948. 6. 12	GS	東京第4団発足(正式に認められる)	警視庁110番設置
6. 19	BS	東京スカウトラリー(常盤小学校)	山ノ手線初乗り3円
11. 14	GS	東京ガールスカウトラリー(立教女学院)	コーヒー一杯20円
1949. 4. 4	GS	日本連盟誕生	消防庁119番設置
9. 3	BS	スマイル発刊	1ドル=360円 コココーラ自由販売
1950. 6. 24	SS	年長隊発足	1000円札発行 大卒初任給 3450円 (総理大臣 11万円)
1952. 1. 5	GS	日米合同ラリー ミス・クロー歓迎会	“鉄腕アトム”連載開始
1953. 10. 11	GS	東京支部大会(新宿御苑)	NHK東京でテレビ本放送開始 初のスーパーマーケット青山にオープン
1954. 6. 12	CS	隊結成(志水隊長)	大卒初任給 8920円
11. 17	Br	東京第4団発足(リーダー・白井喜久子)	映画“ローマの休日”封切 ショートカット流行
1955. 7. 15 8. 14	GS	萬井潤子ジュリエット・ロウ・セッション参加(アワ・シャレー)	ヘレン・ケラー来日 1円アルミ貨発行 トランジスタラジオ発売 (ソニー)
11. 26	SS	シー・スカウト隊結成(石川隊長)	洋服Aライン発表
1956. 8. 3	BS SS	第1回日本ジャンボリー(軽井沢)	国際連合加盟 洋服Yライン発表

1957.	6. 21 (9. 7	G S C S B S S S	田中富江ジュリエット・ロウ・セッ ション参加(アメリカ・カナダ) 新制度により第4団となる (田中団委員長)	5000円札発行 上野動物園にモノレールが登場
1958.	1. 4		上級スカウト東京第4団発足 (リーダー・志水興)	一万円札発行 東京タワー完工 フラフープ流行
1959.	4. 1	S S	年長隊発足(今田隊長)	皇太子御成婚 緑のおばさん登場
	7. 18	S S	第10回世界ジャンボリー(マニラ) 安積, 小林, 加藤, 木下, 柳, 参加	
	8. 6	B S S S	第2回日本ジャンボリー(あいば野)	
1960.	5. 22	Br G S 上級	世界連盟正式加盟祝賀行進ラリー (香蘭女学園)	カラーTV市販開始 インスタント食品時代はじまる
	7.22~28	S S	第5回米国ジャンボリーコロラドスプ リングス(今田, 日下部参加)	ダッコちゃん流行 バンタロン・ホットパンツ・ とんぼめがね流行
1961.	2. 25	C S B S S S	飯牧師育成会長に就任	(キャノン)バカチョンカメ ラ普及始まる ライシャワー大使着任 シームレス・ストッキング流行
1962.	4. 1	ローパー	青年隊発足(今田隊長)	
	4. 7		仮称レンジャー発団 (リーダー・根本喜久子)	
	11. 18		レディB-P来日	
1963.	3. 30 (4. 1	C S 上級	支部キャンプ(成城学園)	ソ連人間衛星打上げ 初の女性宇宙飛行士テレシコ ワの第一声「私はカモメ」
	4. 28		正式にレンジャー発足	
	7.5~8.15	G S	田中恵子、ジュリエット・ロウ・セッ ション参加(アワ・カバニア)	小さな親切運動はじまる
	7.28~9.2	B S	飯田隊長第11回世界ジャンボリー参加 (ギリシャ)	
	9. 7		G S、B S 合同キャンプファイヤー	
	10. 20	Br G S 上級 Rr	ミス・カーカリー歓迎ラリー (香蘭女学園)	
	12. 15	G S B S	合同クリスマス礼拝	
1964.	6. 7.21~25	Rr 上級	中島千賀、レンジャーアドベンチャー参加 団キャンプ(平石森山)	東京オリンピック開催 "ウルトラC"流行
	7.21~24	C S	隊舎営(志賀高原発噴温泉)	大卒初任給 21,000円
	7.27~31	B S	隊キャンプ(富士山麓)	
	7.28~30	Br	団キャンプ(秩父YH)	

1964. 8.4~9	SS	隊移動キャンプ(伊豆縦走)	
8.10~13	GS	団キャンプ(朝霧高原)	
1965. 2. 7	BS	隊集会 氷川小へ移動	ミニスカート流行
3. 27		GS 東京支部100 団結成記念式典	モンキーダンス・エレキギター流行
6.9~7.15	上級	黒部牧子リーダー 米国ラウンドアップ参加	オバQ登場
7.10~18	SS	隊キャンプ(那須)	レコード 330 円
7.21~24	CS	隊舎営(八ヶ岳美しの森)	
7.28~30	Br	団キャンプ(榛名高原)	
7.27~30	GS	〃 (唐沢山)	
7.31~8.3	上級	〃 (初声)	
8.10~12	Rr	〃 (戸隠)	
8.23~27	BS	隊キャンプ(日光)	
1966.7.25~28	GS	団キャンプ(山中野営場)	コインランドリー登場(大阪)
7.21~27	CS	隊舎営(伊東YH)	公共料金の値上げつづく
7.28~8.1	上級	団キャンプ(佐久間ダム)	
8. 3~11	BS SS ローバー	第4回日本ジャンボリー (岡山県日本原)	
8.15~17	Br	団キャンプ(2団と合同)(館山)	総人口1億人突破 フォークソング流行 ヒッピー出現
8.23~25	BS	隊キャンプ(富津)	平均寿命 男 67 才 女 72 才
9.28~10.4		ガール・ガイド・ガールスカウト世界会議開催	
11.2~3	Rr	団舎営	
1967. 7.	CS BS GS Br SS	隊キャンプ(羽村) 〃 (伊東) 団キャンプ(富士吉田) 〃 (鎌北湖) 移動キャンプ(伊豆半島)	建国記念日祝日となる 外人関取高見山誕生 ツイッギー来日
1968.			霞ヶ関ビル建つ
1969. 6. 28	上級	亀山恵、カナダキャンプ参加	
1970. 7.	BS Br GS 上級 CS GS Rr	ジャンボリー準備キャンプ 夏キャンプ(伊豆修善寺) 〃 (日本平BS野営場) 〃 (甲府YH) 戸隠全国キャンプ	新公害、光科学スモッグ判明 日本万国博開催(大阪)

1970. 7.	B S C S	大島藤倉学園 一泊キャンプ(伊豆)	
1971. 7.	C S 上級 G S S S ローパー	キャンプ(西湖YH) " (山中湖) " (A 山中湖, B 富士高原) 第13回世界ジャンボリー参加(朝霧高原)	スマイルバッジ流行 ネズミ講続出 歩行者天国始まる
3. 4~5	C S	高尾山一泊キャンプ	
3.25~29	S S	雪中キャンプ(池の平学童庵)	
1972. 4.	B S	団委員長 小崎忠雄氏就任	グァム島から元日本兵横井庄一さん帰国
7.	Br G S 上級 C S B S S S	キャンプ(中強羅) " (A 榛名湖, B 戸隠) " (日光) 舎営(秩父YH) キャンプ(那須) " (能登半島一周)	パンダ、上野動物園へ サイダー 50円 ラーメン 200円 沖縄返還
11.		ボーイスカウト日本連盟 50周年	
1973. 4.		ガールスカウト新制度発足 Br、GS、A、B、上級、Rr改めBr、Jr Sr、Rr、アダルトとし 団抜いとなる	振りかえ休日制定 ハイセイコー人気
7.	Br Jr Sr Rr	キャンプ(甲府YH) " (小林牧場) " (中禅寺湖) " (軽井沢)	オイルショックのため、トイレットペーパーなどの買いだめパニックがおきる "ディスカバー・ジャパン"ブーム
8.	C S B S	キャンプ(日光阿世瀧) 移動キャンプ(木曾路)	
1974. 7	Br Jr Sr Rr C S B S S S B S S S	キャンプ(忍野) " (山中湖B S野営場) " (塩原泉宮キャンプ場) " (野辺山国鉄キャンプ村) " (忍野) " (小林牧場) 移動キャンプ(奥武蔵) 第6回日本ジャンボリー8名参加	元日本兵小野田寛郎さん、ルバング島で発見 つなぎルック流行 大卒初任給 8万3000円
1975. 7.	Br Jr Sr Rr C S B S S S	キャンプ(良山荘) " (清宏園) " (五光牧場) 移動キャンプ(糸井川~黒部ダム) キャンプ(丹波山) " (塩原) ワールドアドベンチャー 安西君参加	コーヒー一杯 250円 S P (セキュリティ・ポリス) 警視庁に発足
12.	ローパー	沖縄旅行	三億円事件時効
1976. 7.	Br Jr Sr Rr	キャンプ(中軽井沢) " (小林牧場) " (西那須B S野営場)	山ノ手線初乗り 60円 紅茶キノコブーム シルバースーツ登場

1976. 7.	B S S S	キャンプ(道志川・八ヶ岳) 移動キャンプ(山陸方面)	
1977. 7.	G S Jr Sr	合同キャンプ(忍野八海) 春キャンプ(代々木青少年センター) " (外房たいの浦)	Tシャツ、ヨットパーカー、 スニーカー流行 山ノ手線初乗り 60円
4. 29	合同 Jr Sr	30周年記念式典 日赤100年パレードに参加	
3.	S S C S	春キャンプ(神津島) 夏キャンプ(清里、テーマ:ロビン フッドの冒険)	
	B S S S	" (千葉印旛沼) オールナイトサイクリング(東京~木更 津~川崎~東京)	
	S S	夏キャンプ...農場手伝(北海道、斜里 広沼牧場)	
9.	合同	キャンプファイヤー	
1978.	Br Jr Sr Rr Jr	キャンプ(奥多摩、思源荘) " (軽井沢山の家) " (BS山中野営場) " (軽井沢山の家) 春キャンプ(忍野八海)	A.ヘイリー著「ルーツ」ベ ストセラー だぶだぶファッション流行 宮城沖地震(M7.5 死者28人)
8.	Sr	海外派遣(多摩キャンプ 黒川祐子)	
7~8	Sr	英国生活体験プログラムリーダー 竹本裕子	
3.	S S B S	春キャンプ(移動:愛知県知多半島) スキーキャンプ(戸隠)	
8.	B S C S S S	第7回日本ジャンボリー(御殿場) リーダー安西、スカウト小崎・鈴木・ 大島 夏キャンプ (伊豆:テーマ 戦国の武将たち) 夏キャンプ(移動:高知~中村)	
1979.	Br Jr Sr Rr Jr	キャンプ(北軽井沢・民山荘農園ユース ホステル) キャンプ(千葉・小林牧場) " (日光・阿世瀧キャンプ場) 移動キャンプ(丹沢4つのキャンプ場) 春キャンプ(修善寺サイクルスポー ツセンター)	"ウサギ小屋"時代 自動車電話登場 ナメ猫ブーム 東京サミット 東名日本坂トンネル内火災事故 パンダのランラン死亡
3.		スケートの会 リーダー・団委員研修会	
5.	合同	バスピク(富士緑の休暇村)	
10.	S S B S C S	教会創立100年式典 奉仕 春キャンプ(奥多摩) スキーキャンプ(戸隠) 夏キャンプ (上田:テーマ ぼくらは忍者)	

1979. 10.	B S B S	夏キャンプ(山中湖) オーバーナイトハイク	
12. 25	C S S S "	創立25周年記念式典 ナイトハイク(東京~茅ヶ崎) 夏キャンプ(移動:長野~軽井沢)	
1980.	G S Br Jr	合同キャンプ(本栖湖青少年スポーツセンター) 春キャンプ(我孫子ブラウニーの国へ) " (山梨小管村、かどや)	イエスの方舟事件 コレクトコール電話実施される ドラえもん登場
4. 29		バスピク(森林公園)	太平首相急死
6.		リーダー研修会	パンダのカンカン死亡
10. 3.	G S C S B S	合同運動会 スキー(テーマ:白銀の世界) " (蔵王坊平)	
7.	C S B S B S	夏キャンプ(八ヶ岳 テーマ:ロビンフッドの冒険) 夏キャンプ東京キャンボリー(榛東村) オーバーナイトハイク	
1981.	Br Jr Sr Rr Br Sr	キャンプ(奥多摩 思源荘) " (日向村キャンプ場) " (軽井沢山の家) 春キャンプ(芦花公園) " (鎌倉 日本芝生会館)	アラレちゃんブーム ぶりっ子ブーム ローマ法王来日
4. 29	G S B S	バスピク(子供の国)	
5.		障害者との交わり(常門館)	
8.	Rr C S B S B S	全国キャンプ(戸隠GSキャンプ場 1名) 夏キャンプ(大王 テーマ:宝島) " (長野・上村) オーバーナイトハイク	
1982.	Br Jr Sr Rr	キャンプ(伊東 ふくだ屋) " (奥多摩 川井キャンプ場) 舎営キャンプ(千葉 民宿)	ホテル・ニュージャパン火災 日航機羽田沖墜落 "ルンルン"ブーム
4. 29	合同	バスピク(富士緑の休暇村)	
8.	Sr C S B S B S	支部キャンプ(戸隠GSキャンプ場) 夏キャンプ(千倉 テーマ:戦国の武将) 第8回日本ジャンボリー(蔵王) 大川・城所参加 夏キャンプ(塩原)	
10.	C S	カブリンピック(ICU)	
11.	B S	オーバーナイトハイク	

1983.	Br Jr Sr Rr	キャンプ(箱根 電興保養所) " (箱根 湖尻ロッキングセンター) 移動キャンプ(日光、湯元・干手ヶ浜 キャンプ場)	レーガン大統領来日 東京ディズニーランド開園 フィリピンでアキノ氏暗殺
5.	Sr	動物愛護協会パレード	
11. 19	B S G S C S	旧会堂 お別れ礼拝 夏キャンプ(八ヶ岳 テーマ:ロビン フッドの冒険)	
	B S B S	夏キャンプ(日光 小倉山) オーバーナイトハイク	
1984.	Br Jr Sr	キャンプ(山中湖 富士青少年センタ ー)" (軽井沢山の家)	グリコ・森永事件の始まり 一万円、五千円、千円新札発 行 "エリマキトカゲ"ブーム
	Rr	キャンプ(会津若松磐梯高原ユースホ ステル)	
	Jr Br	春キャンプ(湖尻ロッキングセンター) 30周年記念パーティ	
3.	G S	リーダー研修会(湖尻ロッキングセン ター)	
5.		ファミリーパーティ	
7~8.	Rr	海外派遣(スイス・アワシャーレ) 矢沢直子	
10.	Rr	都盲人福祉協会奉仕	
12.	Sr	ガール・スカウトの船 16名	
	C S B S "	夏キャンプ(野尻 テーマ:宝島) " (八千穂村) オーバーナイトハイク	
1985.	G S	教会 新会堂に移る 合同キャンプ(渋川総合公園キャンプ 場)	科学万博つくば'85(3月 ~9月)
	Br	春ハイキング(鎌倉) 35周年記念ジュニアキャンプ(稔原 村)	ハレーすい星観測打ち上げ成 功
1.	G S	リーダー研修会(豊村家)	
12.	Sr Rr 合同	ガール・スカウトの船 Sr 1名、Rr 2名 OB、OG 新会堂記念会	
5.3~4	S S	浦山口キャンプ	
5.	C S	カプリンピック	
7.	C S	夏キャンプ(那須 テーマ:忍者カプ 丸)	
	B S	夏キャンプ(塩原)	

1985.	S S	夏キャンプ(移動:伊豆修善寺) 台風のため中一泊で中止	
1986.	Br	キャンプ(湖尻ロッキングセンター)	
	Jr	" (Y M C A野辺山高原センター)	
	Sr	" (本栖湖キャンプ場)	
	Rr	移動キャンプ(高松-松山-広島-京都)	
	Br	春ハイキング(小石川植物園)	
	Jr	春キャンプ(秩父 せせらぎ荘)	
4.	G S	リーダー研修会(教会)	
7.	Sr	海外派遣 多摩キャンプ 伊豆村真理	
8.	Sr	シニアキャンプ(戸隠 G S キャンプ場)	
	Rr	仲よしキャンプ(戸隠 G S キャンプ場) 中川未利	
12.	Sr	ガール スカウトの船 11名	
3.	S S	スキーキャンプ	
4.	B S	オリエンテーリング(高尾山)	
5.	C S	オリエンテーリング(高尾山)	
	S S	浦山口キャンプ	
7.	C S	合同夏キャンプ(日光小倉山)	
	B S	テーマ:ロビンフッドの冒険)	
8.	B S	第9回日本ジャンボリー(蔵王)	
		リーダー:大槻	
		スカウト:横山・大貫・山寺・小峰	
	S S	夏キャンプ(移動:山中湖100キロ)	
9. 7	S S	ナイトハイク(高尾山)	
11. 23	S S	" (")	

編集後記

「ブラウニーのページ、タイトルに五行ね。本文プラス二行が一人分。カットはここに入れて：：」等々、気の遠くなるような作業を経て活字になったものを手にした時の感激は、これから先、決して忘れることはないでしょう。スカウトやOB・OG、多勢の人々のそれぞれの想いを載せたこの記念誌の編集を終えるにあたり、御協力を頂きました皆様から御礼を申し上げたいと思います。特に誌面の構成から印刷に至るまで、終始御指導頂いたオカモトヤの鈴木明様に感謝いたします。

霊南坂スカウトの皆さん！改めてハッピーバースデー！

追記

永年、育成長として御奉仕頂きました飯先生は、三月末日をもって霊南坂教会の主任牧師を退任されました。四月より、新しく高塚勝先生が主任牧師として着任されました。したがって、八七年度から育成会長を高塚先生にお受け頂きました。

創立四十周年記念誌

発行日 一九八七年四月二十九日

編集者

内藤正樹
豊村裕子
岡部加苗
永山理恵子
瀬崎伊都子

発行者

ボーイスカウト港一団
ガールスカウト東京第四団

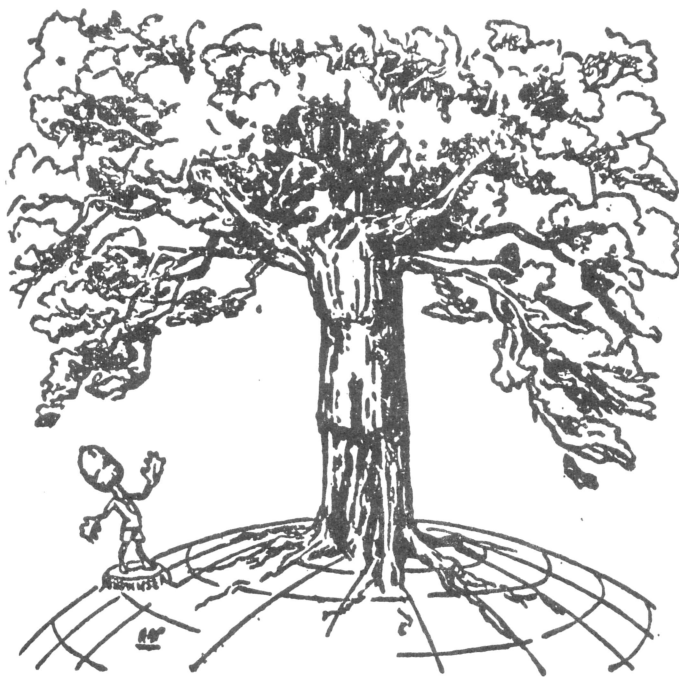
東京都港区赤坂一丁目十四番三
霊南坂教会内

表紙デザイン

大浜良友
(ボーイスカウトOB)

印刷・製本

(株)オカモトヤ



祝 40 周年
矢澤硝子店

〒104 中央区八丁堀 3 - 4 - 7
電話 555 - 6375
矢澤 康男



祝 40 周年

アクセサリ-・輸入雑貨・造花

すみ屋

銀座 / 東京
(571) 4326

祝 40 周年

古美術

永山温故堂

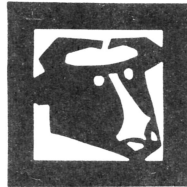
東京都港区虎ノ門4-2-4

電話 03(431)0011・0192

永山 幸太郎

祝 40 周年

虎の門



すきやき

ステーキ

とみたや

港区虎ノ門1丁目8番7号 TEL (03)501-9297・8

祝 40 周年

児 崎 泰 久 +

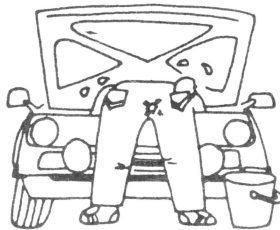
株式会社 ATO 総合設計

一級建築士事務所

〒106 東京都港区六本木7丁目4番1号
TEL.(403)0601(代)(スマイリービル)
FAX.(403)5456

祝 40 周年

川崎のりもの館^や



- 富士火災代理店
- 中古車販売
- 修理・板金・車検
- 各種チューニングパーツ
- レジャー・ビークル 内外装・その他

〒213 川崎市高津区坂戸1-622

Tel 044-812-0300

豊村好一

祝 40 周年

レストラン

サウサリト

〒107 港区北青山 2-12-27

電話 408-7049

小林 昭夫

祝 40 周年

酒類販売店

前田屋

〒101 千代田区東神田 1-8-9

電話 866-7947

寺田 善次郎

祝 40 周年

やきとり

ぴんちゃん

〒106 港区六本木 3-13-3

第 5 六本木ビレッジ B 1

電話 408-1296

百塚 健一

祝 40 周年

天ぷら

玉 家

〒107 港区北青山 3-2-10

電話 (店)497-1050

(自)497-9254

高 玉 大

祝 40 周年

戸田クリーナーズ

〒106 港区六本木1-3-41
アークヒルクヒルズサイド1F

電話 583-0450
583-2716

戸田 健次郎

祝 40 周年

おもちゃ

モモタロー

〒167 杉並区下井草2-44-4

電話 395-1779

小林 隆

祝 40 周年

(株) 宮 崎 製 本

〒114 北区田端新町 1-10-14

電話 894-4198

代表取締役 関 口 敦 夫

祝 40 周年

東 弘 電 器 (株)

〒211 川崎市中原区新丸ノ子717

電話 044-722-0916

代表取締役 沢 田 明 秀

祝 40 周年

軽オフ・タイプ印刷

(有) 三 響 社

〒101 千代田区神田小川町 3 - 7

電話 293-0842

代表取締役 金 森 勝 芳

祝 40 周年

(有) 美 鷹 印 刷

〒143 太田区中央 8 - 32 - 16

電話 755-4343

代表取締役 岩 見 良 明